
Course Guide

Wakayama University

履修手引

教養教育科目
連携展開科目

handbook for 2025
students

令和7年度

Wakayama
univ.

令和7(2025)年度 学年暦・授業計画

第1クォーター：1Q
第2クォーター：2Q
第3クォーター：3Q
第4クォーター：4Q

土・日・祝日・夏季一斉休業
授業休止日

() 数字…クォーター授業回
曜日+() 数字…代替授業曜日+クォーター授業回

○数字…セメスター授業回
○数字+補…セメスター補講日
曜日+○数字…代替授業曜日+セメスター授業回

注) 予備日は、気象警報発表等により授業休止となった授業の代替実施等に充てる。
注) 授業休止は、学部・学環及び大学院のすべての授業を対象とする。

和歌山大学

月/曜	日	月	火	水	木	金	土	学年暦
令和7年 (2025年)			1	2	3	4	5	4月 1日 (火) 前期開始
4月	6	7	8	9	10	11	12	4月 4日 (金) ガイダンス／前期・通年・1Q・2Q 事前登録開始 13:00
		ガイダンス	ガイダンス	履修相談	学生相談	(1) (1)		4月 5日 (土) 入学式／ガイダンス
	13	14	15	16	17	18	19	4月 7日 (月) ガイダンス／前期・通年・1Q・2Q 事前登録締切 17:00
		(1) (1)	(1) (1)	(1) (1)	(1) (1)	(2) (2)		4月 8日 (火) ガイダンス／前期・通年・1Q・2Q 履修登録開始 00:00
	20	21	22	23	24	25	26	4月 9日 (水) 履修相談 /前期・通年・1Q・2Q履修登録締切 23:59
		(2) (2)	(2) (2)	(2) (2)	(2) (2)	(3) (3)		4月 10日 (木) 学生相談
	27	28	29	30				4月 11日 (金) 前期・通年・1Q 授業開始
		(3) (3)	昭和の日	(3) (3)				4月 29日 (火) 休日 (昭和の日)
5月					1	2	3	5月 2日 (金) 代替授業日：火曜日授業実施
					(3) (3)	火3 火3	憲法記念日	5月 3日 (土) 休日 (憲法記念日)
	4	5	6	7	8	9	10	5月 4日 (日) 休日 (みどりの日)
	みどりの日	こどもの日	振替休日	(4) (4)	(4) (4)	(4) (4)		5月 5日 (月) 休日 (こどもの日)
	11	12	13	14	15	16	17	5月 6日 (火) 休日 (振替休日)
		(4) (4)	(4) (4)	(5) (5)	(5) (5)	(5) (5)		5月 7日 (水) 前期・通年・1Q 履修登録取り消し開始 9:00
	18	19	20	21	22	23	24	5月 9日 (金) 前期・通年・1Q 履修登録取り消し締切 13:00
		(5) (5)	(5) (5)	(6) (6)	(6) (6)	(6) (6)		
	25	26	27	28	29	30	31	
		(6) (6)	(6) (6)	(7) (7)	(7) (7)	(7) (7)		
6月	1	2	3	4	5	6	7	6月 1日 (日) 創立記念日
		(7) (7)	(7) (7)	(8) (8)	(8) (8)	(8) (8)	予備日	6月 7日 (土) 予備日
	8	9	10	11	12	13	14	6月 11日 (水) 2Q 授業開始
		(8) (8)	(8) (8)	(1) (9)	(1) (9)	(1) (9)	予備日	6月 14日 (土) 予備日／1Q 授業終了
	15	16	17	18	19	20	21	
		(1) (9)	(1) (9)	(2) (10)	(2) (10)	(2) (10)		
	22	23	24	25	26	27	28	
		(2) (10)	(2) (10)	(3) (11)	(3) (11)	(3) (11)		
	29	30						
		(3) (11)						
7月			1	2	3	4	5	7月 2日 (水) 2Q 履修登録取り消し開始 9:00
			(3) (11)	(4) (12)	(4) (12)	(4) (12)		7月 4日 (金) 2Q 履修登録取り消し締切 13:00
	6	7	8	9	10	11	12	7月 17日 (木) 授業休止日 (学生大会)
		(4) (12)	(4) (12)	(5) (13)	(5) (13)	(5) (13)		7月 21日 (月) 休日 (海の日)
	13	14	15	16	17	18	19	7月 23日 (水) 代替授業日：月曜日授業実施
		(5) (13)	(5) (13)	(6) (14)	学生大会	(6) (14)		
	20	21	22	23	24	25	26	
		海の日	(6) (14)	月6 月14	(6) (14)	(7) (15)		
	27	28	29	30	31			
		(7) (15)	(7) (15)	(7) (15)	(7) (15)			
8月						1	2	8月 1日 (金) 前期セメスター科目試験・補講期間開始
						(8) 16補	予備日	8月 2日 (土) 予備日
	3	4	5	6	7	8	9	8月 7日 (木) 前期セメスター科目試験・補講期間終了
		(8) 16補	(8) 16補	(8) 16補	(8) 16補	予備日		8月 8日 (金) 予備日／前期・2Q 授業終了
	10	11	12	13	14	15	16	8月 10日 (日) 夏季休業開始
夏季休業開始	山の日	夏季一斉休業	夏季一斉休業	夏季一斉休業	夏季一斉休業	夏季一斉休業		8月 11日 (月) 休日 (山の日)
	17	18	19	20	21	22	23	8月 12日 (火) 夏季一斉休業開始
		夏季一斉休業						8月 18日 (月) 夏季一斉休業終了
	24	25	26	27	28	29	30	
	31							
9月		1	2	3	4	5	6	9月 12日 (金) ～前期・1Q・2Q 成績開示
								9月 15日 (月) 休日 (敬老の日)
	7	8	9	10	11	12	13	9月 17日 (水) 前期・1Q・2Q 成績異議申立期限 ※卒業・修了学年除く
								9月 18日 (木) 夏季休業終了
	14	15	16	17	18	19	20	9月 19日 (金) 後期・3Q・4Q 事前登録開始 9:00
		敬老の日			夏季休業終了			9月 22日 (月) 後期・3Q・4Q 事前登録締切 17:00
	21	22	23	24	25	26	27	9月 23日 (火) 休日 (秋分の日)
			秋分の日			前期 学位記授与式		9月 24日 (水) 後期・3Q・4Q履修登録開始 00:00
	28	29	30					9月 25日 (木) 後期・3Q・4Q履修登録締切 23:59
								9月 26日 (金) 前期 学位記授与式
								9月 30日 (火) 前期終了

月/曜	日	月	火	水	木	金	土	学年暦
10月				1 (1) ①	2 (1) ①	3 (1) ①	4	10月 1日 (水) 後期開始／後期・3Q授業開始 10月13日 (月) 休日 (スポーツの日)
	5	6 (1) ①	7 (1) ①	8 (2) ②	9 (2) ②	10 (2) ②	11	10月15日 (水) 代替授業日：月曜日授業実施 10月23日 (木) 後期・3Q 履修登録取り消し開始 9:00
	12	13 スポーツの日	14 (2) ②	15 月2月2	16 (3) ③	17 (3) ③	18	10月27日 (月) 後期・3Q 履修登録取り消し締切 13:00
	19	20 (3) ③	21 (3) ③	22 (3) ③	23 (4) ④	24 (4) ④	25	
	26	27 (4) ④	28 (4) ④	29 (4) ④	30 (5) ⑤	31 (5) ⑤		
11月							1	11月 3日 (月) 休日 (文化の日)
	2	3 文化の日	4 (5) ⑤	5 (5) ⑤	6 月5月5	7 (6) ⑥	8	11月 6日 (木) 代替授業日：月曜日授業実施 11月14日 (金) 授業休止日 (大学祭準備)
	9	10 (6) ⑥	11 (6) ⑥	12 (6) ⑥	13 (6) ⑥	14 大学祭準備	15 大学祭	11月15日 (土) 大学祭 11月16日 (日) 大学祭
	16 大学祭	17 大学祭後片付	18 (7) ⑦	19 (7) ⑦	20 (7) ⑦	21 (7) ⑦	22	11月17日 (月) 授業休止日 (大学祭後片付) 11月23日 (日) 休日 (勤労感謝の日)
	23 勤労感謝の日	24 振替休日	25 月7月7	26 (8) ⑧	27 (8) ⑧	28 (8) ⑧	29	11月24日 (月) 休日 (振替休日) 11月25日 (火) 代替授業日：月曜日授業実施
	30							
12月		1 (8) ⑧	2 (8) ⑧	3 予備日	4 予備日	5 (1) ⑨	6	12月 3日 (水) 予備日 12月 4日 (木) 予備日／3Q 授業終了
	7	8 (1) ⑨	9 (1) ⑨	10 (1) ⑨	11 (1) ⑨	12 (2) ⑩	13	12月 5日 (金) 4Q 授業開始 12月26日 (金) 4Q 履修登録取り消し開始 9:00
	14	15 (2) ⑩	16 (2) ⑩	17 (2) ⑩	18 (2) ⑩	19 (3) ⑪	20	12月27日 (土) 冬季休業開始
	21	22 (3) ⑪	23 (3) ⑪	24 (3) ⑪	25 (3) ⑪	26 (4) ⑫	27 冬季休業開始	
	28	29	30	31				
令和8年 (2026年)					1 元日	2	3	1月 1日 (木) 休日 (元日) 1月 5日 (月) 冬季休業終了
1月	4	5 冬季休業終了	6 (4) ⑫	7 (4) ⑫	8 (4) ⑫	9 月4月12	10	1月 7日 (水) 4Q 履修登録取り消し締切 13:00 1月 9日 (金) 代替授業日：月曜日授業実施
	11	12 成人の日	13 (5) ⑬	14 (5) ⑬	15 (5) ⑬	16 (5) ⑬※	17	1月12日 (月) 休日 (成人の日) 1月16日 (金) ※授業休止5・6限(大学入学共通テスト準備)
	18	19 (5) ⑬	20 (6) ⑭	21 (6) ⑭	22 (6) ⑭	23 (6) ⑭	24	代替授業は2月10日 (火) 5・6限 1月17日 (土) 大学入学共通テスト実施〔関係者以外入構禁止〕
	25	26 (6) ⑭	27 (7) ⑮	28 (7) ⑮	29 (7) ⑮	30 (7) ⑮	31	1月18日 (日) 大学入学共通テスト実施〔関係者以外入構禁止〕
2月	1	2 (7) ⑮	3 (8) ⑯補	4 (8) ⑯補	5 (8) ⑯補	6 (8) ⑯補	7	2月 3日 (火) 後期セメスター科目試験・補講期間開始 2月 9日 (月) 後期セメスター科目試験・補講期間終了
	8	9 (8) ⑯補	10 予備日	11 建国記念日	12 予備日	13	14	2月10日 (火) 予備日 (1/16代替授業5-6限) 2月11日 (水) 休日 (建国記念日)
	15	16	17	18	19	20	21	2月12日 (木) 予備日 後期・通年・4Q 授業終了 2月23日 (月) 休日 (天皇誕生日)
	22	23 天皇誕生日	24	25 前期入試	26	27	28	2月25日 (水) 前日程入学試験実施〔関係者以外入構禁止〕
3月	1	2	3	4	5	6	7	3月12日 (木) 後期日程入学試験実施〔関係者以外入構禁止〕 3月13日 (金) ～後期・通年・3Q・4Q 成績開示
	8	9	10	11	12 後期入試	13	14	3月16日 (月) 春季休業開始 3月17日 (火) 後期・通年・3Q・4Q 成績異議申立期限 ※卒業・修了学年除く
	15	16 春季休業開始	17	18	19	20 春分の日	21	3月20日 (金) 休日 (春分の日) 3月25日 (水) 学位記授与式
	22	23	24	25 学位記授与式	26	27	28	3月31日 (火) 後期終了/春季休業終了
	29	30	31 春季休業終了					

本書の使い方

和歌山大学の授業科目は、学部・学環(以下「学部等」)に固有の「専門科目」と所属する学部等を超えて実施される「教養教育」からなります。このうち本書は、「教養教育」の履修方法を説明したものです。本書を活用して、有意義な学生生活を送ってください。

「V. 科目ナンバリングおよびカリキュラムツリー」は教養教育科目と連携展開科目の授業科目関連図を示しています。

「VI. 授業科目表/カリキュラムマップ」は、今年度の開講される教養教育科目、連携展開科目の授業科目の一覧を示しています。授業科目の内容を記した「シラバス」はインターネット上で公開されています。「和歌山大学教育サポートシステム」より、各自で閲覧してください。「VI. 授業科目表/カリキュラムマップ」を参考にして、履修計画を立てて、履修する授業科目を決定してください。

本書以外にも、各学部等の履修手引があります。また、大学での生活全般に関する事項は、学生センターのホームページ「基本事項・授業/シラバス」に掲載されています。充実した大学生活と学修のために、本書と合わせて活用してください。

I. 基本方針	5
1. 和歌山大学 ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)	7
2. 和歌山大学 カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)	7
II. 履修	9
1. 履修登録について	11
1.1 履修登録に必要なもの	11
1.2 履修登録方法	11
1.3 履修登録の種別	11
2. 履修登録のながれ	12
III. 授業科目	13
1. 授業科目の名称	15
2. 授業の方法	15
3. 授業科目の単位	15
4. 授業科目の開講形態	15
5. 科目区分	16
5.1 教養教育科目、連携展開科目の科目区分(2020年(令和2年)度以降)	16
5.2 科目区分の詳細	17
5.2.1 教養科目(基幹)	17
5.2.2 教養科目(実践)	18
5.2.3 連携展開科目	19
6. テーマ別紹介	21
6.1 サテライトで学ぶ	21
6.2 博物館学芸員について学ぶ	23
6.3 主体的に深く学ぶ	25
6.4 地域を学ぶ(わかやま未来学副専攻)	27
6.5 グローバルに学ぶ	29
6.6 数理・データサイエンスを学ぶ	33
6.7 食と農について学ぶ	35
6.8 災害と防災・減災を学ぶ	36
IV. 単位互換制度等	37
V. 科目ナンバリングおよびカリキュラムツリー	39
1. 授業科目のナンバリング	41
1.1 ナンバリングの見方と定義	41
2. 教養教育科目／連携展開科目 カリキュラムツリー	43
2.1 カリキュラムツリーの見方	43
2.2 教養教育科目／連携展開科目 カリキュラムツリー	44
VI. 授業科目表／カリキュラムマップ	45
1. 授業科目表／カリキュラムマップ	47
附 録	59

I. 基本方針

＜2020年度(令和2年度)以降入学生対象＞

学士課程 [全学]

1. 和歌山大学 ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)

和歌山大学卒業時に身につけているべき能力を、5つの要素で構成したディプロマ・ポリシーにより、次のように定める。5つの要素の比重や具体は各学部で異なるが、卒業する全ての学生がこの5つの要素に関わる能力を身につけている必要がある。

1.幅広い教養と分野横断的な学力

- ・教養教育により、普遍的な思考力と、時代や社会が求める実践的な力を身につけている。
- ・専門分野の枠を超えて求められる知識や思考法などの知的な技法の基礎を身につけている。

2.専門的知識や技能

- ・専門分野における十分な見識を身につけることにより、専門職業人としての知識・技能を備えている。

3.課題解決力と自己学修能力

- ・修得した知識・技能を活用して課題を解決し、主体的に学び続ける能力、意欲と態度を備えている。

4.協働性とコミュニケーション能力

- ・他者と協働して物事に取り組み理解する能力、意欲と態度を備えている。

5.地域への関心と国際的視点

- ・地域の特性を理解し、地域の課題解決に寄与する意欲や態度を備えている。
- ・異文化理解力、コミュニケーション力を身につけ、国際的視野を備えている。

2. 和歌山大学 カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

学士課程にかかる学修成果を身につける教育課程を次の方針に基づき編成し実施する。

【教育課程編成の視点と内容】

1.幅広い教養と分野横断的な専門性を身につける教育を行う。

2.学士課程における人材養成の目的に従い、専門的知識と実践力を学び、課題解決する能力や態度を育成する教育を行う。

3.他者と協働して物事に取り組む能力や態度を育成する教育を行う。

4.地域を理解するとともに、異文化理解力、コミュニケーション力を高め、国際的視野を獲得する教育を行う。

5.時代と社会が求める人材像に適合するキャリア教育を行う。

【教育課程展開の授業形態・方法】

科目内容に応じて、講義、演習、実験、フィールドワーク、ゼミナールなどから適した形態をとり、学生が主体的に学修することを目指し、アクティブラーニング科目を充実させる。

履修上特別な支援を要する学生に対し、適切な支援を行う。

【学修成果の評価方法】

1.成績評価の方法及び基準を定める。

2.明確な評価基準に基づき、厳格な成績評価を行う。

＜2020年度以降入学生の各学部ポリシー＞

[和歌山大学ホームページ](#)にて公表しています。各自で確認してください。

＜2019年度以前入学生＞

[和歌山大学ホームページ](#)にて公表しています。各自で確認してください。

II. 履修

1. 履修登録について

各学部等で定められた卒業に必要な単位数などを含む履修に関するルールを学生がみずから理解し、卒業に必要な授業科目を履修する必要があります。履修登録の手続きは、授業を受講する意思があることを示すもので、その授業を受講し、単位を修得するための条件となりますので、カリキュラムや履修登録方法を理解したうえで、期日までに忘れずに登録しましょう。

1.1 履修登録に必要なもの

(1)履修手引（教養教育科目・連携展開科目の履修手引および各所属学部等の履修手引）

各学部等のカリキュラム・卒業要件や履修方法が記載されています。必ず履修しなければならない必修科目等を確認しましょう。また、開講されている科目の一覧も履修手引に示されています。

(2)和歌山大学アカウント(メールアドレス・パスワード)

履修登録は教育サポートシステムから行います。教育サポートシステムにログインするためには和歌山大学のアカウントが必要です。

(3)シラバス

シラバスには、授業の到達目標や成績評価方法等、授業計画が示されています。履修上の注意事項や履修条件などが示されていることもありますので、履修する科目を決定する際に必ず確認するようにしてください。

1.2 履修登録方法

履修登録は教育サポートシステム上で行います。大学全体の履修登録期間は本書の冒頭に掲載している「学年暦・授業計画」を確認してください。教養教育科目・連携展開科目の登録期間や対象科目については、教育サポートシステムから掲示およびメールで通知しますので、確認するようにしてください。

1.3 履修登録の種別

(1)事前登録(抽選)が必要な科目の登録

教養教育科目・連携展開科目は人数制限がある科目が大部分を占めています。対象の科目は、和歌山大学Moodle上に掲載しますので、確認し事前登録期間に履修登録を行ってください。事前登録期間終了後に抽選処理によって受講可否が決定します。

(2)先着登録科目の登録

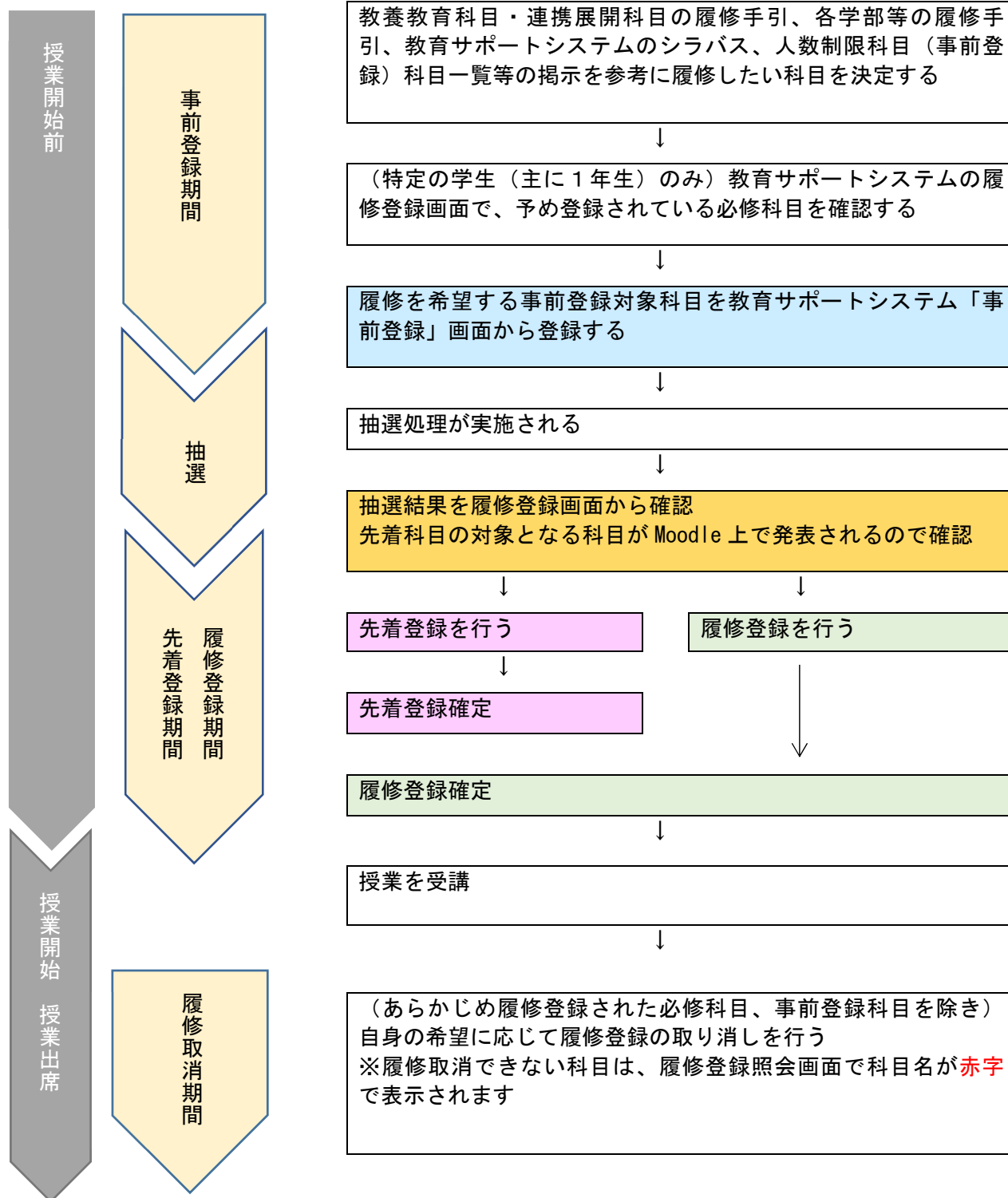
事前登録(抽選)科目が決定後、受入定員に達していない科目については、先着登録期間に先着受付を行います。対象の科目は、和歌山大学Moodle上に掲載しますので、確認し先着登録期間に履修登録を行ってください。

事前登録(抽選)にはずれた場合は、先着登録科目を検討してください。

(3)その他人数制限のない科目の登録

教養教育科目・連携展開科目には、数は少ないですが、人数制限のない科目もあります。履修登録期間に履修登録を行ってください。

2. 履修登録のながれ



III. 授業科目

1. 授業科目の名称

授業科目名の末尾に「Ⅰ」「Ⅱ」や「A」「B」をつける場合があります。

「Ⅰ」、「Ⅱ」等は相互に関連があることを示しています。また、「A」、「B」等は、それぞれが独立した内容であることを示しています。これらの表記のある授業科目では、履修の順序や組み合わせに制限を設けている場合があります。例えば、「Ⅰ」の単位を取得しなければ、「Ⅱ」の授業科目を履修することはできません。該当する授業科目のシラバスで確認してください。

2. 授業の方法

本学では、授業の方法を次のように分類しています。授業の方法により、同じ時間の授業を受けても、修得できる単位数が異なります。

- ☐ 講義
- ☐ 演習
- ☐ 実験・実習
- ☐ 実技
- ☐ 上記のいくつかの授業方法の組み合わせ

3. 授業科目の単位

授業科目の成績評価により合格点に達すると単位を修得できます。授業科目の単位数は、その授業の方法により、次のように定められています。

授業の方法	1単位の修得に必要な学修時間(45時間)
講義	授業 15 時間(7.5 回) + 授業時間外学修 30 時間
演習	
実験・実習	授業 30 時間(15 回) + 授業時間外学修 15 時間
実技	

- ☐ いくつかの授業方法を組み合わせて行われる授業では、その授業科目ごとに 1 単位の修得に必要な授業時間数の組み合わせを決めています。

(参考) 和歌山大学成績評価及び単位修得並びに GPA 制度に関する規程 第 4 条抜粋

(単位の計算方法)

第 4 条 1 単位の授業科目は 45 時間の学修を必要とする内容をもって構成されるものとし、1 単位の授業科目に必要な授業時間数は、次の各号のとおりとする。

- (1) 講義は、15 時間の授業をもって 1 単位とする。
- (2) 演習は、15 時間から 30 時間の授業をもって 1 単位とする。
- (3) 実験、実習及び実技は、30 時間の授業をもって 1 単位とする。
- (4) 二以上の方法の併用による場合については、第 1 号から第 3 号の時間数にそれぞれの方法による割合を乗じて得た時間数の和をもって 1 単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、必要な学修等を考慮して、教授会または研究科会議の議を経て単位数を定めることができる。

4. 授業科目の開講形態

学期は、前期・後期の 2 学期制とし、各学期をさらに 2 つの期間(クォーター)に区分しています。授業には、次のような開講形態があります。

- ☐ クォーター科目・・・各クォーター期間中に 8 週で完結する授業科目
(前期: 第 1 クォーター・第 2 クォーター、後期: 第 3 クォーター・第 4 クォーター)
① 週 2 回開講 2 単位科目・・・各クォーター内で週 2 回 8 週で完結する授業科目

②2コマ連続開講2単位科目・・・各クォーター内で、2コマ連続開講により週1回 8 週で完結する授業科目

③週1回開講1単位科目・・・週1回8週で完結する授業科目

- セメスター科目・・・前期・後期の授業期間中に週 1 回15週で完結する2単位の授業科目
- 通年科目・・・・・・前期・後期を通して開講し、週 1 回30週で完結する4単位の授業科目
- 集中講義・・・・・・主に夏季または冬季休業中の数日間に集中して行う授業科目

5. 科目区分

5.1 教養教育科目、連携展開科目の科目区分(2020 年(令和 2 年)度以降)

<教養教育科目>

1.教養科目(基幹)

1.1 わかやま未来学

1.2 「教養の森」科目群

科目群1「学問と、その総合性を考える」

科目群2「宇宙と、その神秘性を考える」

科目群3「生命と、その多様性を考える」

科目群4「人間と、その相関性を考える」

科目群5「世界と、その連動性を考える」

科目群6「社会と、その公共性を考える」

1.3 「教養の森」ゼミナール

2.教養科目(実践)

2.1 グローバル教育科目

2.1.1 数理・データサイエンス科目

2.1.2 情報処理科目

2.1.3 言語教育科目

2.1.3.1 英語

2.1.3.2 初修外国語

2.1.3.3 日本語

2.1.4 海外留学科目

2.2 アカデミック・ライティング科目

2.3 健康・スポーツ教育科目

2.4 日本事情・日本文化科目

<連携展開科目>

3.連携展開科目

3.1 地域展開指向

3.1.1 副専攻科目(わかやま未来学副専攻)

3.1.2 サテライト科目

3.1.3 地域連携科目(自治体等との連携による授業科目)

3.2 グローバル展開指向

3.2.1 数理・データサイエンス科目

3.2.2 ASEAN プログラム科目

3.2.3 副専攻科目(わかやま日本学副専攻)

3.3 実践展開科目

3.3.1 資格科目(ミュージアム科目)

3.3.2 自主演習科目

5.2 科目区分の詳細

和歌山大学の授業科目は、専門教育科目、教養教育科目、連携展開科目に分類されます。これらの科目は、それぞれ目的に沿って体系化・構造化されています。みなさんはこれらの科目の全体を把握したうえで、将来の夢を描きながら主体的かつ計画的に履修を進め、いわゆる「学士力」(知識、汎用性スキル、態度・志向性、創造的思考力など)を身につけていきます。

教養教育の目的は、幅広い教養、分野横断的学力(俯瞰力)、課題解決能力、コミュニケーション能力、主体的に学び続ける能力、論理的思考力などを有し、専門的な知識やスキルを活用して様々な分野で他者と協働できる人材を育成することです。この目的を達成するために、「教養科目(基幹)」、「教養科目(実践)」、および教養教育と専門教育を結びつける「連携展開科目」を開講します。

<教養教育科目>

5.2.1. 教養科目(基幹)

わかやま未来学【全学必修】

「わかやま未来学」は、教養教育科目をとおしての学修の端緒を開く授業科目です。1年次生全員が、学部等の枠を越えて4つのクラスに分かれて共修します。指定されたクラスで履修してください。

授業の目的は次のとおりです。

- ①和歌山県の歴史、文化、自然、風土などを知り、そのうえで、これからの国や地域の将来像・可能性について考える。
- ②大学で学ぶことの意味や価値について考える。
- ③教養教育科目全体を展望する。

「地域志向大学」である和歌山大学は、和歌山圏域に限らない「地域」の諸課題の解決に向けて様々な取り組みを進めています。その最前線で活躍している「授業担当教員」がローテーションで4つのクラスの授業を担当します。受講生のみなさんと、授業担当教員と、各教室の「ファシリテート担当教員」が協力して、「共に教え学ぶ場」を創っていきます。

「教養の森」科目群

「教養の森」科目群は教養科目(基幹)の主たる部分で、次の6つの科目群で構成されています。

- 科目群1「学問と、その総合性を考える」
- 科目群2「宇宙と、その神秘性を考える」
- 科目群3「生命と、その多様性を考える」
- 科目群4「人間と、その相関性を考える」
- 科目群5「世界と、その連動性を考える」
- 科目群6「社会と、その公共性を考える」

主に1年次前期の履修を推奨する授業科目と、1年次後期以降の履修を推奨する授業科目に分けられています。大部分は抽選によって履修できる授業科目が決まります。

「教養の森」ゼミナール

「教養の森」ゼミナールは、「人間的対話力」を修養する場と考えてください。授業は少人数で行います。「対話」を授業の中核に置き、不易の言語力(読み、書き、聴き、話す力)を育みます。そのため、学生と教員の間に、豊かな、世代を超えた交流の場を構築します。

5.2.2. 教養科目(実践)

グローバル教育科目

▶ 数理・データサイエンス科目 【一部全学必修科目】

Society 5.0 で実現される社会では、広範囲に「ひと」と「もの」が繋がるとされています。このような社会では、膨大な数値データからイベントの傾向を把握し、適切な代表値を用いて評価する能力及びその技能が文理を問わず求められます。こうした能力の基礎となる、数値データの基礎的な見方及び取り扱い方を学ぶためにこの科目群を設置します。

導入科目「データサイエンスへの誘い」及び発展的な内容に進む準備段階の授業科目「データサイエンス入門」を教養科目(実践)として開講し、発展的内容を取り扱う授業科目を連携展開科目(グローバル展開指向)として開講します。これらをあわせて「数理・データサイエンス科目」と呼びます。

「データサイエンスへの誘いA」と「データサイエンスへの誘いB」は、1年次の【必修】科目です。

▶ 情報処理科目 【一部全学必修科目】

本学では情報処理をSociety 5.0 における基盤的素養・学識として捉え、全学学生に情報処理に関する知識と技能を身につけさせるために、「情報処理」を教養科目(実践)に位置づけて開講します。

「情報処理」にはIとIIの二つのレベルがあります。どちらのレベルの授業科目も、全学共通の内容と各学部の学びの特徴を考慮した内容で構成しています。そのため、所属学部等で履修できるクラスが異なります。卒業に必要な単位数も学部等によって異なりますが、**「情報処理 I」はすべての学生が1年次【必修】科目です。**詳細は、所属学部等の履修手引で確認してください。

▶ 言語教育科目

○ 英語 【全学必修科目有】

学部によって授業科目名が異なります。また、卒業に必要な単位数も異なりますので、所属学部等の履修手引で確認してください。

○ 初修外国語

初修外国語では中国語、ハングル、ドイツ語、フランス語が開講されます。それぞれ、「入門」と「初級」に分かれています。**「入門」から履修をしてください。**卒業に必要な単位数は学部で異なりますので、所属学部等の履修手引で確認してください。

○ 日本語

「日本語」科目は、学部留学生、日本語日本文化研修留学生、交換留学生を対象とする授業科目です。日本語を母語とする学生は履修できません。

日本語レベルにより、上級(日本語能力試験N2以上・N1)・中上級(N2程度)・中級(N3以上)に分かれています。授業の初回にプレイメントテストを行いますので、必ず受けてください。テストの結果でクラス分けを行います。

研究生、教員研修留学生で受講を希望する学生は必ずプレイメントテストを受講して下さい。

学部留学生は、卒業に必要な単位数が学部で異なりますので、所属学部等の履修手引で確認してください。

▶ 海外留学科目

この科目群では、10 日間から約 1 カ月間の海外短期留学の機会を提供します。留学先や留学先での授業の内容については、シラバスで確認してください。春季休業期間中に留学をする場合は、翌年度の前期に開講される授業科目「海外短期留学」に履修登録することになります。単位の認定は履修登録をした学期の終了後になりますので注意してください。

海外留学科目以外にも、ASEAN プログラム(連携展開科目)を利用して、海外で学ぶことができます。また、本

学には交換留学制度があり、1学期間あるいは1年間、海外の協定大学で学ぶことができます。交換留学制度の詳細については国際交流課の窓口で確認してください。

アカデミック・ライティング科目

論理的な文章(伝わる文章)を書く能力を高めることを目的とする授業科目で構成されています。それぞれの授業科目は関連していますが、履修の順序に制約はありません。「論理的な文章の書き方」は、2年次後期までに履修することを勧めます。

健康・スポーツ教育科目

教育学部の学生は金曜日の指定された時限で履修してください(教育学部の履修手引を参照ください)。

経済学部、観光学部、システム工学部、社会インフォマティクス学環の学生を対象とするスポーツ実習は、月曜日の2時限と3限目、水曜日の3限目(前期)と2時限(後期)に開講されます。

授業内容はクラスによって異なりますので、シラバスをよく読んで必要な物を準備してください。

履修年次に制限はありません。1年次生から4年次生まで履修可能です。卒業に必要な単位数に何単位まで算入できるかは、学部によって異なりますので、所属学部等の履修手引で確認をしてください。

日本事情・日本文化科目

日本文化や日本学について理解を深めることを目的とする授業科目で構成されています。フィールドワークや文化体験をととして、日本について学びます。なお、「日本事情」「日本学演習」は、『わかやま日本学副専攻』の対象科目です。

<連携展開科目>

5.2.3. 連携展開科目

連携展開科目とは、学習者が知的関心に基づき、教養教育科目で得た知識やスキルをさらに進化、発展させるための授業科目、あるいは専門教育科目と連携させることで学習者のもつ知識やスキルの適応範囲を拡大させるための授業科目です。社会における課題の発見とそれを解決するための基盤、すなわち、学問の成果の「社会実装」を推進する基盤を構築することを目的とします。

「社会実装」について補足説明をしておきます。「実装」は比較的新しい言葉で、「装置や機器の構成部品を実際に取り付ける」という意味で用いられています。「社会実装」はさらに新しい言葉で、おそらくみなさんの学修成果や研究成果を実際に「社会に取り付けること」、すなわち仕事やその他の活動をととして自分の知識や能力を社会で活用することを意味すると思われます。それは、社会の様々な問題の解決に寄与するためであり、そのためには人文・社会科学および工学・自然科学分野の双方の知識と、基礎的・汎用的能力が必要となります。連携展開科目は専門教育科目と教養教育科目の組み合わせによって身につけた知識や能力を試し、伸長させる機会を提供します。

連携展開科目は3つの「展開指向」、すなわち、「地域展開指向」、「グローバル展開指向」、「実践展開指向」で構成されています。それぞれ、地域の自治体や団体等との連携展開、グローバルな視点での連携展開、実践的・実務的な活動をととしての連携展開を推進します。

地域展開指向

- ▶ 副専攻科目(わかやま未来学副専攻)【令和5年度以前入学者対象】(注1)
- ▶ サテライト科目(南紀熊野サテライト・岸和田サテライトで開講される授業)
- ▶ 地域連携科目(自治体等との連携による授業科目)

グローバル展開指向

- ▶ 数理・データサイエンス科目
- ▶ ASEAN プログラム科目

- ▶ 副専攻科目(わかやま日本学副専攻)(注1)

実践展開指向

- ▶ 資格科目(ミュージアム科目)
- ▶ 自主演習科目

注1:副専攻科目とは、副専攻プログラムに配置されている授業科目のことです。副専攻プログラムとは、「各学部、学環の専攻に係る分野以外の特定の分野又は特定の課題について、体系的なカリキュラムを編成することにより、学生に多様な学修の機会を提供し、理論と実践を通じた幅広い学びにより、環境に応じた柔軟な発想力や応用力を育成することを目的と」しています。〔和歌山大学副専攻プログラムに関する規則〕参照

6. テーマ別紹介

6.1 サテライトで学ぶ

1. サテライト科目とは

和歌山県田辺市と大阪府岸和田市にある2つのサテライトで、地域の人々とともに学ぶ、地域課題に関わった科目、文化・教養に関する科目です。さまざまな年齢・職業の人たちと一緒に授業を受けることで、栄谷キャンパスで受ける授業とはひと味違った貴重な経験を積むことができます。

2. 学外の学びの拠点・2つのサテライトとは

和歌山大学には栄谷キャンパスのほかに、南紀熊野サテライト(田辺市)と岸和田サテライト(岸和田市)、2つの学びの拠点があります。サテライトはその名の通り、大学の衛星として、地域の人たちに大学の持つ知を提供したり、自治体や地域の人々と連携・協働して地域課題解決のための取り組みを行ったりする場です。サテライト科目開講のほか、学生の皆さんの研究活動でのフィールド活動のサポートなども行っています。両サテライトでは、栄谷キャンパスで学ぶ学生の皆さんをお待ちしています。



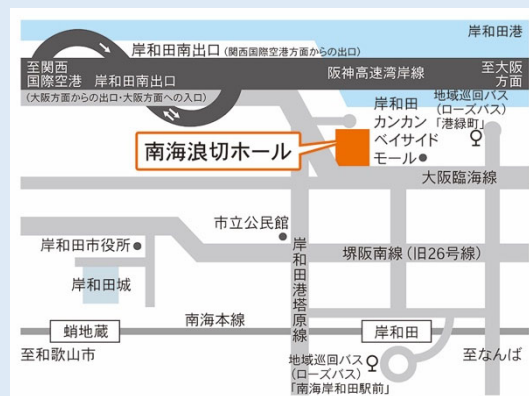
南紀熊野サテライト

〒646-0011 和歌山県田辺市新庄町 3353-9
県立情報交流センターBig・U内
TEL 0739-23-3977



岸和田サテライト

〒596-0014 大阪府岸和田市港緑町 1-1
TEL 072-433-0875



3. 2025 年度サテライト開講科目一覧

各科目の詳しい内容は、シラバスを参照してください。

【南紀熊野サテライト開講授業】

科目名	単位数	担当教員	複数担当教員	開講時期	人数制限	備考
熊野祭礼学	1	吉村 旭輝		前期・集中	—	
南紀熊野の先人たち	1	橋本 唯子		前期・集中	20 人	
統計による社会の分析	2	松田 憲幸		前期・集中	10 人	
南紀熊野の防災実践論	1	此松 昌彦		後期・集中	—	
ICT リテラシーとデジタルライフ	2	豊田 充崇		後期・集中	—	
中山間地域づくり論	1	岸上 光克	阪井 加寿子	後期・集中	—	



【岸和田サテライト開講授業】

科目名	単位数	担当教員	複数担当教員	開講時期	人数制限	備考
不登校・ひきこもりへの理解と支援：当事者に寄り添って	2	山崎 由可里	船越 勝、則定 百合子、竹澤 大史、森 麻友子、北岡 大輔	前期・集中	25 人	
AI で変わる世界 入門編	2	伊原 彰紀	風間 一洋、八谷 大岳、陳金輝、西村 竜一	前期・集中	20 人	
SDG s ・豊かさ	1	岡崎 裕	上野 美咲、伊藤 政也	後期・集中	25 人	
地域防災入門	1	此松 昌彦	田内 裕人、宮定 章（非常勤）	後期・集中	25 人	
まち育てを楽しむ	2	和田 真治	足立 基浩、岸上 光克、松田 敏幸、佐久間 宣行	後期・集中	20 人	



6.2 博物館学芸員について学ぶ

博物館学芸員資格の取得について

(1) 博物館学芸員資格とは

博物館学芸員とは、博物館(美術館、歴史博物館、水族館、科学館、動物園などを含む)において「博物館資料の収集、保管、展示及び調査研究その他これと関連する事業についての専門的事項をつかさどる」(「博物館法」第4条4項)職員を指します。欧文表記ではCurator(キュレーター)。

本学では、この資格取得に関する科目を全学部向け連携展開科目として開講しています。自らの専門分野、進路に役立てる資格として推奨します。

(2) 資格取得の方法

本資格を得るためには、次ページに掲げる科目(博物館学芸員資格カリキュラム)の単位を修得し、学士の学位を有する(＝大学を卒業する)ことが必要です。特に定められた免許状などはないため、卒業時に発行する博物館学芸員科目に関する単位修得証明書をもって、本資格の取得者と証明されます。

(3) 履修の条件など

1. 「博物館実習Ⅰ」(3年次配当)はミュージアム科目を1科目以上履修していない者は履修不可。
2. 「博物館実習Ⅱ」(4年次配当)の履修は、これ以外の博物館学芸員科目の単位を全て修得済み(または「博物館実習Ⅱ」履修中に修得見込み)であることを要件とします。

(4) 博物館学芸員資格カリキュラムについて

本カリキュラムに関するガイダンス資料は、下記ホームページに掲載していますので、資格取得を希望する場合はこれを熟読すること。

[教養の森ホームページ 博物館学芸員資格カリキュラムについて]

<https://www.wakayama-u.ac.jp/kyoyonomori/forstudents/museum.html>

【担当教員】

橋本 唯子(教養教育部門) hashiyui@wakayama-u.ac.jp

博物館学芸員資格カリキュラム

科目名	単位	備考
生涯学習概論※	2	教育学部開講科目 <u>下記注意事項確認のこと。</u>
博物館概論 (旧科名:21世紀ミュージアム学)	2	
博物館経営論 (旧科目名:ミュージアムを創る)	2	
博物館教育論 (旧科目名:ミュージアムを使う)	2	
博物館情報・メディア論 (旧科目名:ビジュアルコミュニケーション)	2	
博物館資料論	2	
博物館資料保存論	2	
博物館展示論	2	
博物館実習(学内実習2単位、館園実習1単位)	2	3年次配当
	1	4年次配当
計	19	

これらの科目は、人数制限のある事前登録科目となります。履修を希望する学生は、事前登録期間に登録を行ってください。

※「生涯学習概論」は、教育学部開講科目「社会教育概説」(A:前期水5、B:後期水5、AもしくはBどちらかを取
得することで充当)として開講します。履修希望者は、「他学部等専門教育科目の履修」に関する通知を必ず確
認すること。(この科目は、教養教育科目・連携展開科目として事前登録できません。)

6.3 主体的に深く学ぶ

連携展開科目 自主演習科目について



自主演習とは？

「**自主演習**」は、学生の自主性や創造性を育てるために、学生が自分の意志で実施する意欲的な活動に対して、評価(単位認定)を与える授業科目です。和歌山大学独自の特徴的な教育プログラムの一つです。文理横断の取り組みを推進しており、活動内容や、学生の学部・学環などの所属を問いません。すべての和大学生が履修することができます。

例えば、ソーラーカーやロボット、アプリの開発、映像作品やゲームの制作、観光振興、社会貢献、ボランティア、教育、調査、実習活動などがテーマに含まれます。

「自主演習」には、連携展開科目の「自主演習」と、各学部等の専門科目の「自主演習」があります。この手引きでは、連携展開科目の「自主演習」の説明をしています。また、「自主演習」の履修に必要な2Q科目「自主演習入門」についても説明します。専門科目の「自主演習」については、各学部等の担当までお問合せください。



「クリエイ」ってなに？

「**クリエイ**」は、「学生自主創造支援部門」という学内組織の愛称です。クリエイでは、「**クリエイティブプロジェクト**」(学生プロジェクト活動)や「**自主演習**」を通して、和大学生の自由な発想による自主的な「学び」をサポートしています。

クリエイには、グループワークができる「ミーティングルーム」や「ことづくり室」「ものづくり室」、3D プリンタ等がある「ファブスペース」の部屋があります。また、講習を受講してライセンスを取得した学生なら本格的な大型工作機械等が使用できる工作室があります。これらの充実した環境を活用したいときは、北2号館1階にあるクリエイの事務室に相談してください。



「自主演習」の履修方法

1. 2Q 開講の「自主演習入門」を履修する。

2025 年度入学生からは、連携展開科目の「自主演習」を履修するには、その事前準備(履修条件)として、2Qの開講である「自主演習入門」(連携展開科目)を受講(履修)する必要があります。「自主演習入門」は 2Q に開講される授業ですが、履修登録のタイミングは、前期の最初(4月)です。後から「自主演習」を履修する可能性がある人は、4月に「自主演習入門」の履修登録を忘れないようにしてください。

「自主演習入門」では、「自主演習」の計画を作るのに必要な社会背景、動機や目標の設定、課題解決等の方法論を学びます。入念な準備をすることで、大学という環境を最大限に活かした「自主演習」を実行できるようになります。なお、「クリエイティブプロジェクト」の活動には、「自主演習入門」を受講していなくても参加できますが、プロジェクト活動をより有意義なものにするために、クリエイでは、「自主演習入門」の受講をおススメしています。

2Q科目「自主演習入門」を履修している必要があります ※2025年度入学生から

プロジェクト 登録・参加	履修届・履修計画書 提出	活動	報告書 提出
- プロジェクトを新規登録するか、既存プロジェクトに参加してください。 - 新規登録や既存プロジェクトへの参加は、年度途中のいつであっても構いません。	- 具体的な課題を定めて、履修届・履修計画書を作成、提出してください。 (〆切) 前期：5月末、後期：11月末まで	教員の指導を受けて、計画的に演習を実施してください。	- 活動内容・成果等を「報告書」にまとめて、指導教員に提出・確認を受けてください。 (〆切) 前期：「第2クォーター授業終了」の日、後期：「第4クォーター授業終了」の日まで

連携展開科目「自主演習」の履修手順

2. 「クリエプロジェクト」に登録する。

連携展開科目の「自主演習」は、クリエが運営する「**クリエプロジェクト**」(学生プロジェクト活動)と連動して実施することになっています。「クリエプロジェクト」では、目標や計画を共有する学生でチーム(プロジェクト)を作って、さまざまな活動を行います。プロジェクトに参加したら、積極的に活動してください。活動を通じて見つけた課題の解決が「自主演習」のテーマになります。

既存のプロジェクトに参加する場合、プロジェクトの見学等を通じて、プロジェクト指導教員がクリエに提出する名簿に名前・学生番号等を登録してもらってください。

また、1年生でも、プロジェクトを立ち上げることができます。新規プロジェクトの登録には、一緒に活動する仲間(1人の活動でも構いません)と、指導していただくプロジェクト指導教員が必要です。新規にプロジェクトを立ち上げる際には、仲間やプロジェクト指導教員を探すお手伝いができますので、クリエにご相談ください。

3. 「履修届」と「履修計画書」を提出する。

「自主演習」を履修する際には、指導教員と相談して「履修届」と「履修計画書」を作成して、次の〆切までに、指導教員からクリエに提出してください(教育サポートシステムでは手続きできません)。なお、「クリエプロジェクト」で活動するだけでは「自主演習」の履修にはなりません。

【重要】「履修届・履修計画書」の〆切：前期5月末、後期11月末

- ※ 活動時期が夏休みや春休みの場合は、次の学期での履修になります。
- ※ 同時に複数の「自主演習」の履修はできません。また、各学部等の専門科目の「自主演習」と連携展開科目の「自主演習」も同時に履修することはできません。
- ※ プロジェクト指導教員と「自主演習」の指導教員が異なっても構いません。

4. 「報告書」を提出する。

教員の指導を受けて、活動が完了したら、〆切までに、「報告書」を指導教員に提出してください。合格した場合、1単位を修得できます。連携展開科目「自主演習」では、1年生～4年生で最大2単位まで修得できます。

【重要】「報告書」の〆切：前期「第2クォーター授業終了」の日

後期「第4クォーター授業終了」の日

- ※ 「自主演習」は、グループで履修することができます。ただし、「履修届・履修計画書」「報告書」は、履修する学生個々が作成し、個別に提出する必要があります。
- ※ **質問・相談は、「学生自主創造支援部門(クリエ)」まで**
- ※ ○ 電子メール：creainfo@ml.wakayama-u.ac.jp



6.4 地域を学ぶ(わかやま未来学副専攻)

このプログラムは2023年度以前の入学者が対象です。2024年度以降の入学生はプログラムに参加できません。

わかやま未来学副専攻に関して、その他詳細は担当教員に確認してください。

【担当教員】

佐藤 祐介（教養教育部門） yusukes@wakayama-u.ac.jp

【2023 年度以前の入学者対象】

わかやま未来学副専攻のプログラム修了のために履修が必要な地域専門科目群について、2025 年度の対象科目は、下記に記載のとおりです。

学部	指定科目名	単位	他学部生の受講
教育	地誌学	2	
教育	保全生物学	2	
教育	防災教育論	2	
教育	和歌山の自然	2	○
教育	社会地理学	2	
教育	自然地理学	2	
教育	社会教育計画論 A	2	
教育	社会教育計画論 B	2	
教育	生涯学習支援論 A	2	
教育	生涯学習支援論 B	2	
経済	交通まちづくり調査研究	2	
経済	地域分析実験演習 A	1	
経済	地域分析実験演習 B	1	
経済	政策科学（地域）	1	
経済	政策科学（公共）74 期以降	1	
経済	政策科学（公共）73 期以前	2	
経済	財政政策総論Ⅰ	1	
経済	財政政策総論Ⅱ	1	
経済	地域産業論 A	1	
経済	地域産業論 B	1	
経済	中心市街地活性化論 A	1	
経済	中心市街地活性化論 B	1	
経済	Foundations of Finance	2	
経済	International Financial MarketsA	1	
経済	International Financial MarketsB	1	
経済	E U 経済論 A	1	
経済	E U 経済論 B	1	
経済	比較経済体制論 A	1	
経済	比較経済体制論 B	1	
経済	経営戦略論	2	

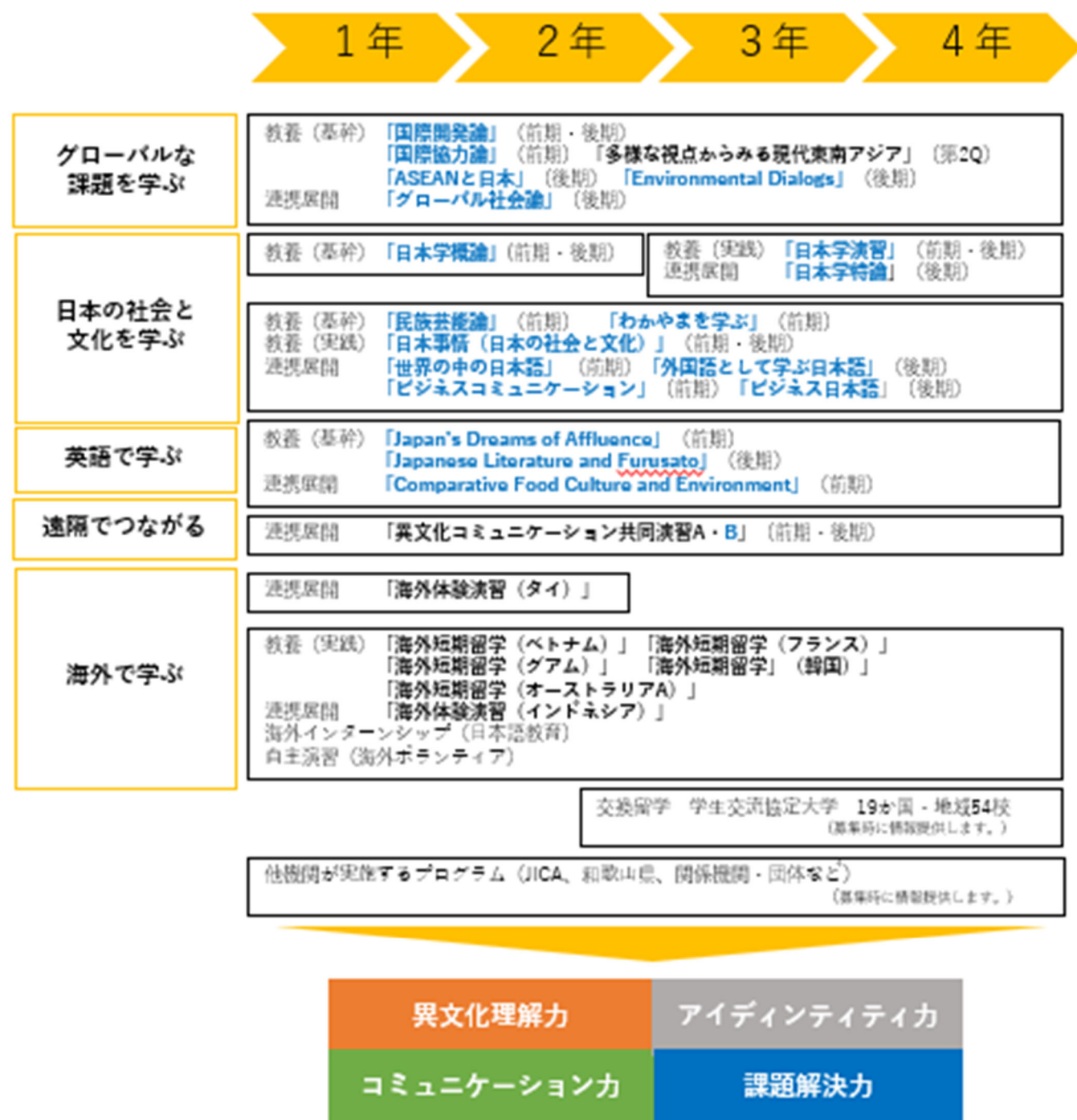
学部	指定科目名	単位	他学部生の受講
経済	International EconomicsA	1	
経済	International EconomicsB	1	
経済	国際貿易論 A	1	
経済	国際貿易論 B	1	
経済	開発経済学 A	1	
経済	開発経済学 B	1	
経済	現代中国経済論 A（総論）	1	
経済	現代中国経済論 B（各論）	1	
経済	東アジア経済発展論 A	1	
経済	東アジア経済発展論 B	1	
経済	現代グローバル経済論 A	1	
経済	現代グローバル経済論 B	1	
経済	計量経済学入門 A	1	
経済	計量経済学入門 B	1	
経済	経済統計学 A	1	
経済	国際物流論 A	1	
経済	国際物流論 B	1	
経済	現代のアメリカ経済政策 A	1	
経済	現代のアメリカ経済政策 B	1	
経済	金融論入門	1	
経済	応用金融論	1	
経済	日本経済史 A	1	
経済	日本経済史 B	1	
経済	Project Management	2	
経済	グローバル・マネジメント	2	
経済	International Management	2	
経済	コーポレート・ガバナンス論	2	
経済	日本的経営論 A	1	
経済	日本的経営論 B	1	
経済	地域政策 A	1	

学部	指定科目名	単位	他学部生の受講
経済	マーケティング論	2	
経済	経営管理論 A	1	
経済	経営管理論 B	1	
経済	企業倫理論 A	1	
経済	企業倫理論 B	1	
経済	組織行動論 A	1	
経済	組織行動論 B	1	
経済	商品企画論	2	
経済	管理会計論 A	1	
経済	管理会計論 B	1	
経済	管理会計論 C	1	
経済	管理会計論 D	1	
経済	財務会計論 A	1	
経済	財務会計論 B	1	
経済	財務会計論 C	1	
経済	財務会計論 D	1	
経済	ビジネスモデルデザイン	2	
経済	経営数学 A	1	
経済	経営数学 B	1	
経済	情報システムデザインⅠ	1	
経済	情報システムデザインⅡ	1	
経済	情報マネジメントⅠ	1	
経済	情報マネジメントⅡ	1	
経済	IT 基礎	1	
経済	経営情報システム論	2	
経済	会社法総論	1	
経済	公益事業論 A	1	
経済	公益事業論 B	1	
経済	社会政策（概論）	1	
経済	社会政策（雇用と労働）	1	
経済	社会政策（社会保障）	1	
経済	政策統計解析 A	1	
経済	政策統計解析 B	1	
経済	農業政策 A（農業政策の展開）	1	
経済	農業政策 B（品目別農業政策）	1	
経済	交通システム論 A	1	○
経済	交通システム論 B	1	○
経済	交通政策 A	1	
経済	交通政策 B	1	
経済	経済地誌 A	1	
経済	経済地誌 B	1	

学部	指定科目名	単位	他学部生の受講
経済	地域政策 B	1	
経済	通商政策 A	1	
経済	通商政策 B	1	
経済	経済政策総論 A	1	
経済	経済政策総論 B	1	
経済	都市政策	2	
経済	行政学	2	
経済	行政作用法 A	1	
経済	行政作用法 B	1	
経済	行政法総論	1	
経済	地域自主演習	1-8	
シス	環境デザイン論 A	1	
シス	都市デザイン	2	○
シス	生活環境システム A	1	
シス	ランドスケープ・エコロジー	2	
シス	都市環境計画 A	1	
シス	都市環境計画 B	1	
シス	データマイニング 1	1	
シス	データマイニング 2	1	
シス	発想法	1	○
シス	地域データ活用法	2	
観光	観光資源論	2	
観光	観光デザイン論	2	
観光	観光とブランド	2	
観光	地域再生と関連法規	2	
観光	観光空間計画論	2	
観光	観光と景観保全	2	
観光	地域再生特殊講義 A	2	
観光	観光と都市農村交流	2	
観光	観光ガイド論	2	○
観光	観光戦略論	2	
観光	地域再生論	2	
観光	観光とコミュニティ	2	
観光	観光商品論	2	
観光	観光まちづくり論	2	
観光	観光応用プロジェクト B	2	
観光	観光応用プロジェクト A	2	
観光	中山間地域再生論	2	

6.5 グローバルに学ぶ

グローバルな知性を磨く



（青字）この科目は、「わかやま日本学副専攻」の対象科目にもなっています（詳しくは次頁）。

(1) わかやま日本学副専攻プログラム

わかやま日本学副専攻プログラムは、日本文化が集積する和歌山の地に根付く知恵や知識の学びと体験を通して、日本語とその背景にある日本文化を統合した日本学を修め、日本文化への深い理解力を培う教育プログラムです。様々な国の学生と共に日本学を学ぶことで、日本及び世界の諸課題をグローバルな課題の中に位置づけながら、理解、表現する能力を涵養します。

わかやま日本学副専攻プログラムを修了するために、以下に掲げる授業科目の単位を修得する必要があります。

(2) わかやま日本学副専攻プログラムの修了認定について

所定の18単位を修得し、修了認定された学生には3年次後期より学長名で「修了認定証書」を交付します。

(3) プログラムへの登録方法について

日本学教育研究センターHP にアクセスし、「わかやま日本学副専攻プログラム」にエントリーするか、QRコードから申請してください (Forms 申請)。申請期間は、前期 4～6 月、後期 7～12 月であり、2年次までに申請する必要があります



(4) わかやま日本学副専攻プログラム カリキュラムマップ



(5) わかやま日本学副専攻プログラム 開講科目

わかやま日本学副専攻プログラムの修了には下記の科目の修得が必要です。

	科目名	科目区分	単位	必修/選択	内 容
群 (4単位) 語学科目	日本語科目 (学部正規留学生対象)	教養科目 (実践)	各 2	選択必修	各科目のシラバスを参照してください。
	英語・初修外国語科目	教養科目 (実践)	各 2	選択必修	

日本文化関連科目群（10単位）	日本学概論	教養科目（基幹）	2	必修	多言語多文化共生が必要とされる国際化の時代において、日本の社会や文化に関心をもつ学生を対象とする科目です。和歌山を含む地域を日本及び国際的な視野に関連付けて、言語、社会などの多様な視点から日本語・日本文化・日本社会を取り上げ、広く日本学の基礎を学びます。
	日本学演習※	教養科目（実践）	2	選択必修	日本文化について関心をもつ学生を対象とする科目です。和歌山及び周辺地域でのフィールドワークを通して、歴史や文化、ポップカルチャーなどを学ぶとともに、伝統文化に関する体験学習を組み込むことで、日本文化を総合的に理解することを目指します。また、体験学習から発表までの一連の活動を通して、個々の文化理解を深めていきます。
	日本学特論※	連携展開科目	2		語学科目、日本学概論で学んだグローバルな視点などを土台に、日本語、日本文化、日本の社会についてテーマを取り上げ、講義やディスカッションを通して、日本学についての理解を深めます。講義には、ゲストスピーカーを招く予定です。
	日本事情（日本の社会と文化）	教養科目（実践）	2	選択	現在日本の衣・食・住といった生活文化や、家族や地域社会の在り方などについて学び、また、和歌山の伝統的な祭りに参加したり、日本の料理や武道や遊びなどを体験したりするなど、多様な学習を通して日本について学びます。
	ビジネス・コミュニケーション	連携展開科目	2	選択	将来、日本企業や日本を市場とする企業などへの就職を志望する学生を対象とする科目です。ビジネス場面で使用される日本語の会話力や文書力を身につけます。
	世界の中の日本語	連携展開科目	2	選択	日本語を母語としない学習者に対する日本語教育に関心をもつ学生を対象とする科目です。日本語を「国語」としてではなく「外国語としての日本語」としてとらえ、日本語の特徴を学び、外国人に対する日本語の教え方や、「やさしい日本語」「継承語」など多言語社会における日本語、日本語教育の問題について学びます。
	ビジネス日本語	連携展開科目	2	選択	将来、日本企業や日本を市場とする企業などへの就職を志望する学生を対象とする科目です。ビジネス場面で使用される日本語の会話力や文書力を身に付け、日本企業の商品、宣伝・広告、社会貢献活動・SDGsへの取り組みなどについて調査・発表し、さらに日本文化の基礎教養を身につけて、将来日本企業などで活躍することを目指します。
	外国語として学ぶ日本語	連携展開科目	2	選択	日本語を「外国語」として見る目を養い、その基本的な文法や語彙を、日本語学習者がわかる日本語で説明できるスキルを学びます。また、日本語教師になるための基礎知識を身につけ、理論に基づいた実践ができるようになることを目指します。
	指定した選択科目（最大4単位まで含むことができる）	教養科目（基幹）	各2	選択	①【前期】「民俗芸能論」（2単位） ②【前期】「わかやまを学ぶ」（2単位） ③【前期】「Japan's Dreams of Affluence」（2単位） ④【後期】「Japanese Literature and Furusato」（2単位） ⑤「Survey of Pre-Modern Japanese Poetry in Translation」（2単位）【R5・R6開講】 ⑥「Survey of Pre-Modern Japanese Prose in Translation」（2単位）【R5・R6開講】
国際連携関連科目群（4単位）	国際開発論	教養科目（基幹）	2	選択	SDGsの諸課題について、履修者の出身国・地域間の比較調査研究や解決に向けた考察をおこないます。グループによる調査研究・分析においては、「わかやま日本学副専攻」で得た知見も含め、多様な視点から解決方法を考える能力を身につけます。
	グローバル社会論	連携展開科目	2	選択	グローバルな課題や取り組みを、自分ごととして捉え、多様な視点で考察できる能力を身につけることを目標とします。和歌山で国際協力、海外展開、地域の課題に取り組まれている方をゲストスピーカーとして招く予定です。
	指定した選択科目（最大2単位まで含むことができる）	※内容欄に記載	各1～2	選択	①【前期】「国際協力論」（2単位）〈教養科目（基幹）〉 ②【前期】「多様な視点からみる現代東南アジア」（1単位）〈教養科目（基幹）〉 ③【前期】Comparative Food Culture and Environment（2単位）〈連携展開科目〉 ④【後期】「ASEANと日本」（2単位）〈教養科目（基幹）〉 ⑤【後期】「異文化コミュニケーション共同演習B」（2単位・留学生人数制限有）〈連携展開科目〉 ⑥「International Comparative Education」（2単位）【R6開講】

※「日本学演習」「日本学特論」の配当年次は3年生ですので、3年生以上の学生が履修できます。
 ※「日本学演習」「日本学特論」は、1、2年次に「日本学概論」を履修した学生のみ履修できます。

●ウェブサイト：<https://www.wakayama-u.ac.jp/cjs/fukusenkenko.html>

6.6 数理・データサイエンスを学ぶ

数理・データサイエンス科目は教養科目(実践)と連携展開科目に分類されています。これらの科目の関連を紹介します。

数理・データサイエンス科目の教養科目(実践)と連携展開科目との関連

教養科目(実践)		
1年次	データサイエンスへの誘い A/B	・統計の基本的内容、統計の正しい見方、統計学からデータサイエンスにつながる内容、世の中の活用事例などを紹介する。 ・Excel およびフリーの分析ツールを用いた統計処理の方法、図表の作成などを行う。 ・初歩的な、データの加工、作成方法など、解釈方法などの習得を目指す。
	データサイエンス入門 A/B	・Rを用いたデータサイエンスの入門となる講義を実施する。 ・データを適切に処理・分析し、データの特徴を数値化または視覚化する技法を習得する。 ・図表等で得られた結果の解釈の方法も身につける。
連携展開科目		
2年次	データサイエンス基礎	・基本的な Pythonプログラミング方法とデータ分析方法の両方を修得する講義を実施する。 ・基本的なデータの加工、作成方法、可視化手法の習得を目指す。 ・基本的な機械学習について学び、それらを Pythonで利用する方法を学ぶ。
	データサイエンス応用	・Pythonを用いたテキストマイニングを中心とした講義と演習を実施する。 ・PBL の演習を通じ、実社会で流通するテキストデータの処理方法を実践的に学ぶ。
	人工知能の初歩	・人工知能システムの仕組みを理解し、実際にツールを駆使して課題を分析するスキルを習得する。
	人工知能概論	・知的な振舞いをシステム化する原理の理解を基に、課題分析の手続き設計技法を習得する。
3年次	数理・データサイエンス・AI 活用 PBL ※システム工学部は2年次から受講可	・本 PBL の目標は、異なる学年・学部 of 学生同士で協力してデータ分析を行い、その結果を発表することである。 ・複数の実データを用いた、データハンドリングを中心としたデータ分析を実施する。 ・プログラミング言語は、Python/R を用いる。
	データサイエンス実践	・Pythonを使ったデータサイエンスの一つとして、実データを用いたデータマイニングを中心と講義と演習を実施する。 ・POSデータを題材として、データマイニングに取り組み、実践的なデータマイニングと可視化の手法の修得を目指す。 ・業務把握、仮説立案、データ分析・検証、提案、プレゼンなど、データサイエンティストの一連の仕事の流れを体験する。



専門教育への接続

「データサイエンス基礎」「データサイエンス応用」「数理・データサイエンス・AI 活用 PBL」「データサイエンス実践」は「連携展開科目」として開講されるが、システム工学部の学生が本授業の単位を取得した場合は、「専門教育科目」の「その他メジャー科目」の単位として認定されます。

◆データサイエンスの重要性

データサイエンスとは、データの分析についての学問分野です。主に大量のデータ(ビッグデータ)から、何らかの意味のある情報、法則、関連性などを導き出します。

以前から、統計やデータ分析という分野がありました。近年、世の中の多くの事象を、データとして取り扱うことができるようになってきています。そのため、多くの意思決定の際に、データの理解や分析結果の理解が必要になってきました。また、データは、AI 駆動型社会の基盤となってきています。現在、データサイエンスの位置づけは、IT リテラシーと同じ位置づけにあり、社会で必要となる基礎力のひとつと考えられています。

和歌山大学では、教養科目(実践)、連携展開科目として、どの学部 of 学生も数理・データサイエンス科目を受講できるようにしています。

他にも、アンケート結果からオープンデータを作成し、授業での活用や、データ分析による課題発見・課題解決能力を競うイベントとして「和歌山データサイエンスハッカソン」の開催(12月)も行っております。

データサイエンス教育加速

文理無関係！

大学生60万人中
50万人受講へ！

なぜ、データサイエンスか？

データ

データの分析・活用は必須の能力

データは、AI駆動型社会の基盤

和歌山大学の取り組み

基礎から実践まで充実した科目を提供

1年 データサイエンス入門A/B
データサイエンス基礎
データサイエンス応用

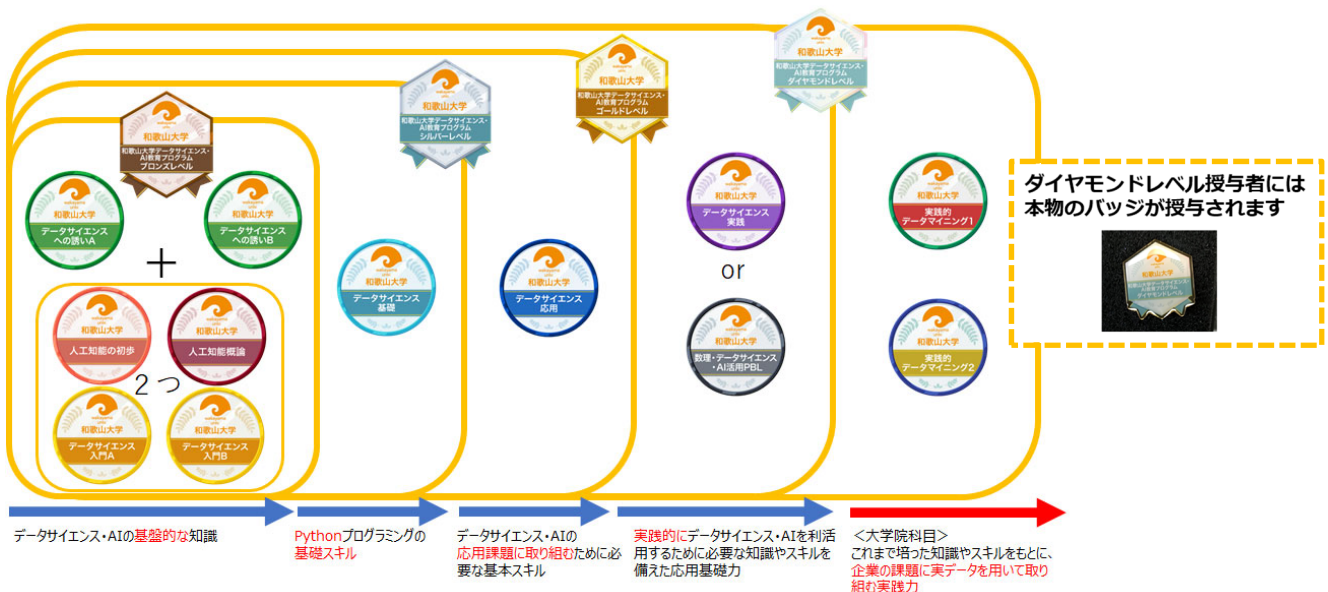
2年 データサイエンス基礎
データサイエンス応用
人工知能の初歩
人工知能概論

3年 数理・データサイエンス・AI活用PBL
データサイエンス実践

全学部受講OK！

◆単位取得者には、学修スキルを示すデジタル修了証の一つである「オープンバッジ」を発行しています

各科目バッジの取得を積み重ねることで積み上げ型バッジ(ブロンズレベルからダイヤモンドレベルまで)を取得できます。ダイヤモンドレベル授与者には本物のバッジが授与(年1回授与式を開催)されます。



◆文部科学省「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度」について

本学では、全学部1年生を対象としたリテラシーレベルの数理・データサイエンス・AI 教育プログラム「データサイエンスへの誘い」と応用基礎レベルの「データサイエンスへの誘い(応用基礎レベル)」を実施しており、文部科学省「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度」のリテラシーレベル(プラス)、応用基礎レベル(プラス)にそれぞれ認定・選定されています(下記科目群を履修することにより、自動的に認定プログラムに参加となります)。

修了要件

「データサイエンスへの誘いA」
「データサイエンスへの誘いB」の2科目を修得

データサイエンスへの誘いA + データサイエンスへの誘いB = 数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(リテラシーレベル)

修了要件

プログラム構成科目(10科目、14単位)のうち、10単位以上を修得

データサイエンスへの誘いA + データサイエンスへの誘いB + データサイエンスへの誘いC + データサイエンスへの誘いD + データサイエンスへの誘いE + データサイエンスへの誘いF + データサイエンスへの誘いG + データサイエンスへの誘いH + データサイエンスへの誘いI + データサイエンスへの誘いJ = 数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(応用基礎レベル)

本プログラムに関する詳細は

和歌山大学 DTIER



6.7 食と農について学ぶ

食農総合研究教育センター —「自分たちの「**食べ物**」とそれを生産する「**農業や農村**」を学ぶ」

- ・食農学（Q2）**教養科目（基幹）**
- ・食と農のこれからを考える（後期）**連携展開科目 地域連携科目**

「食農総合研究教育センター」

食料・農業・農村の新たな価値共創、農林水産業と農山漁村に寄り添う全学組織

- 地域課題解決に向けた社会実装プロジェクトを実施

研究成果を「**学び（教育活動・講義）**」に

学外組織との連携

（和歌山県、和歌山県内の農協・森林組合・漁協、食品産業協会、わかやま産業振興財団等）

わかやま未来学

（食農担当部分）

和歌山県における食と農についての基礎的な内容を、説明します。

食農学 （第2Q）	世界と日本の食料・農業・農村を学ぶ	わかやま未来学などを踏まえて、世界と日本の食料・農業・農村について幅広く学びます。 ・食料を取り巻く世界的情勢 ・日本の農業・農村の状況 ・全国的な農山漁村活性化の事例 など
食と農のこれからを考える （後期）	現場の生の声を聴き実態を学ぶ	【JA わかやま寄附講義】 栄谷キャンパスで受講できる講義で、現場でご活躍の外部講師をお招きし、「現場の生の声」を聴くことができます。 ・日本型ガストロノミーと食文化 ・地域資源の活用とコミュニティビジネス ・農福連携の推進 など

◇食料危機や飢餓問題
◇食品ロスの問題
◇農林漁業の活性化
◇地域（田舎）の活性化
などに興味のある方は
受講をおススメします！

地域と共創する

センターと地域（県内地域）で社会実装プロジェクトを展開。

- ・地域の資源と経済の循環
- ・新商品の開発
- ・スマート農業の導入
- ・労働力支援対策

公開講座 各種セミナー

研究成果の報告とともに、一般向けの公開講座を実施。

- ・地域おこし協力隊との意見交換会
- ・多くのミカンの品種を学ぶ
- ・世界の食と農を考える

さらに深く 学ぶための授業

「食と農」は幅広い分野。各学部においても、関連する講義を提供。

教 育：植物分子育種学
経 済：農業政策
シス工：地域データ活用法
観 光：観光と都市農村交流

学外での学びの場（地域での学び）「きみの地域づくり学校」

内容は、紀美野町のホームページ参照（食農総合教育センターへの問い合わせ）

6.8 災害と防災・減災を学ぶ

災害科学・レジリエンス共創センター —「災害時も人命と地域を守る人材になるため幅広く学ぶ」

- ・災害科学 教養科目（基幹）
- ・自然災害と防災・減災 教養科目（基幹）
- ・事前復興まちづくり学 教養科目（基幹）（R7年度未開講）

「災害科学・レジリエンス共創センター」

防災・減災に関する情報提供を通じて、大学や地域の防災力強化に取り組む

地域課題解決に向けた社会実装プロジェクトを実施

研究成果を「学び（教育活動・講義）」に

学外組織からの講師と連携

和歌山県社会福祉協議会、
日本損害保険協会、
和歌山地方気象台 等

災害科学 (第2Q)	災害の仕組みを知る	災害とはどんなことか、どのようなものが災害になるのか。また地震発生によってどんな災害が発生するのか、台風や前線によってどんな河川の氾濫、土砂災害などの災害が発生するのかをメカニズム、その災害に対してどのように備えるのかを考えていく講義です。
自然災害と 防災・減災 (後期)	災害に備える	近年、地震、津波、洪水、高潮、土砂災害が頻発している。そのため備えるための基礎的な知識を身に着ける。そこでこの講義では災害の概要から、災害時での行動、災害後の活動、平時での普段からの備える活動にわけて講義します。
事前復興 まちづくり学 (第3Q)	災害後の再建を考える	私たちの大学のある和歌山県では、災害が予測されています。近く襲来が予想されている南海トラフ地震、頻繁に起こる豪雨災害。この科目では、災害後に、私たちは暮らし（住まい・仕事）をどう再建するのか？まちをどのように再建するのかを過去の災害から学び、個人や地域の再建のイメージを掴みます。

災害支援を 訓練・実践する

和歌山大学には、災害ボランティアステーション「むすぼら」があります。メンバーになることで、災害ボランティアや災害ボランティアセンターの訓練・実践に参加することができます。

公開講座 各種セミナー

防災士養成講座
災害・防災に関する シンポジウム
社会福祉協議会と連携した 災害ボランティア訓練

IV. 单位互换制度等

Ⅲ. 単位互換制度等について

大学間の交流と協力を促進し、教育内容の充実を図ることを目的とします。各大学は、それぞれの教育課程に応じた授業科目を開設していますが、カリキュラムの内容をさらに充実させようとする取り組みです。学生のみなさんは所定の条件のもとで、在学する大学以外の大学の授業科目を履修します。他大学での履修は、学生の個人的な判断に委ねられるわけではなく、あくまでも大学の教育的な配慮のもとで実施されます。

本学は高等教育共創コンソーシアム和歌山に加盟しており、同組織に参加している大学・短大(下記 URL 参照)の科目を受講することができます。また、取得した単位を本学の単位として認定することができます。受講料は無料です。ただし、一部の科目については、受講料が必要となる場合もありますので、申込の際に確認してください。

なお、4年生(留年生を含む)が履修する場合は、必ず所属学部等担当係に相談してください。

1. 高等教育共創コンソーシアム和歌山

<http://www.consortium-wakayama.jp/>

2. 放送大学

<https://www.wakayama-u.ac.jp/scenter/basic/tannigokann.html>

V. 科目ナンバリングおよびカリキュラムツリー

1. 授業科目のナンバリング

和歌山大学では、学生の皆さんに開講されている授業科目について、科目の学問領域・受講対象・履修時期・科目レベル等をわかりやすく伝えるために、個別の授業科目に対して16桁の科目番号を付しています(以下、ナンバリングとします)。ナンバリングを参考にして、学生の皆さんが適切な時期に、適切な科目を、適切な順序で履修できるようにすることが、その目的です。

《ナンバリングの目的》

1. 学部を越えた学修を進める等の学修環境整備を行うために、開講科目の分野や水準を全学的に俯瞰できるものとする。
2. 学修を通じたディプロマ・ポリシー(以下、DPとします)の修得状況を明確にするために、DPとの対応を明確にする。
3. 各学部・学環、研究科(以下「各学部・研究科」という。)において学生が履修計画を立てられるように、科目の系統や順序性を明らかにする。

1.1 ナンバリングの見方と定義

I ナンバリングの構成

ナンバリングは以下の7つの部分から成る。

(例)わかやま未来学

部局	学問分野				水準	言語	各学部・研究科ディプロマ・ポリシーとの対応					プログラム	順序		
							(1)	(2)	(3)	(4)	(5)				
C	8	0	0	1	1	J	1	0	1	0	1	1	1	a	1

(桁数)

(標記内容)

- 1.....開講部局コード
- 2～5.....学問分野
- 6.....学問分野における水準
- 7.....言語
- 8～12.....各学部・研究科ディプロマ・ポリシーの1～5に対応
- 13.....プログラムなど
- 14～16.....順序

II ナンバリング方法

1 開講部局コード(アルファベット)

- ・教育学部／教育学研究科.....L
- ・経済学部／経済学研究科.....E
- ・システム工学部／システム工学研究科.....S
- ・観光学部／観光学研究科.....T
- ・社会インフォマティクス学環.....K
- ・教養教育委員会.....C

2 学問分野(4桁)(数字)

H30 年度科学研究費助成事業「審査区分表(総表)」から、その科目の分野として最も適切な小区分を一つ選んでいます。複数の小区分にまたがる場合は、そのうちの一つを主たる学問分野として選択しています。(審査区分表では数字5桁で表現されているが、最下位の0を取り除いたものとする。)

小区分で割り振りができない場合は、中区分で割り振りをしています。(中区分コードに 00を付けたもの。)
学問分野に当てはまらない科目については、以下のとおりコードを割り振っています。

内 容	割り振りコード
紹介や入門に関わる科目	L000
卒業論文・卒業研究に関わる科目(ゼミ含む)	M000
自主演習やPBLに関わる科目	N000
実技に関わる科目	P000
インターンシップや実習関連の科目	Q000
キャリアや進路指導に関わる科目	R000
ラーニングスキル等の学習スキルに関わる科目	S000

3 学問分野における水準(1桁)(数字)

以下のように6段階としています。

内 容	コード
学問分野の入門的な内容	1
1を踏まえた学問分野の基礎的な内容	2
1と2を踏まえ、専門を深める内容(概ね学部卒業に求められるレベル)	3
1から3を踏まえ、さらに専門を深める内容(概ね大学院修士で学ぶレベル)	4
1から4を踏まえた専門研究に関する内容(概ね大学院修了に求められるレベル)	5
専攻の学問分野の最先端の内容(概ね大学院博士レベル)	6

4 言語(アルファベット)

授業で主として使用される言語。日本語は J、英語は E、日本語・英語以外は O(オー)。

5 各学部・研究科 DPとの対応(5桁)(数字)

- ・各学部の 5つの DPに相応します。
- ・科目において修得を目指す DPについて「1」、それ以外の DPは「0」としています。
- ・科目ごとに、合計が 10となるよう、各 DP項目の重みづけを行っています。ナンバリングで1を付しDP項目には、必ず1以上を付し、少なくとも1つの DP項目に4以上を割り振っています。

【DPの内容】

- (1) 幅広い教養と分野横断的な学力
- (2) 専門的知識や技能
- (3) 課題解決力と自己学習能力
- (4) 協働性とコミュニケーション能力
- (5) 地域への関心と国際的視点

6 プログラム(アルファベット)

各学部・研究科において設けられているプログラム等をアルファベットで示しています。

同一科目が複数プログラム等で利用されている場合には、それぞれのプログラムでこれ以降のナンバリングを行っています。

教養教育・連携展開科目のプログラムコード

科目区分	コード
教養教育科目(基幹)	1
教養教育科目(実践)	2
連携展開科目	3

7 順序(3桁)(数字)

- ・1桁目は標準履修学年を表しています。(学士課程 1年⇒1。)
- ・2桁目は各プログラムの中で細分化された系統を示し、そのコードは開講部局が個別に指定しています。
- ・3桁目は、2桁目で示した同一系統内での順序性を示すものとし、そのコードは、順序に従い1から順に割り当てています。

2桁目:教養教育・連携展開科目のコード

科目区分	コード
わかやま未来学	a
「教養の森」科目群	b
「教養の森」ゼミナール	c
グローバル教育科目	d
アカデミック・ライティング科目	e
健康・スポーツ教育科目	f
日本事情・日本文化科目	g
連携展開科目 地域展開指向	h
連携展開科目 グローバル展開指向	i
連携展開科目 実践展開指向	j

2. 教養教育科目／連携展開科目 カリキュラムツリー

カリキュラムツリーとは、学位プログラムごとに策定された、ディプロマ・ポリシー(以下「DP」という。)に基づき構築されたカリキュラムにおける、履修の体系性または授業科目群若しくは授業科目相互の関係や履修順序を可視化したものをいい、授業科目の関連を捉えることができます。このようにして捉えられる科目間の関連を「カリキュラムツリー」として図示します。

2.1 カリキュラムツリーの見方

カリキュラムツリーは、横軸が学年を表し、横に進むほど学年が高くなります。縦軸は科目群を表しています。

2.2 教養教育科目/連携展開科目 カリキュラムツリー

[illegible]

專門教育科目

VI. 授業科目表／カリキュラムマップ

この一覧の科目は、2019 年(H31) 度以前の入学者(2021 年(R3) 度以前の編入学者)の場合、すべて教養科目となります。

1. 授業科目表/カリキュラムマップ

科目区分	科目群	科目名	単位数	時間割コード	担当教員	複数担当教員	対象学部	配当年次	教室	開講学期	曜日	時間	授業形態	人数制限	備考	科目ナンバリング
教養（基幹）	わかやま未来学	わかやま未来学	1	G1001001_G1	阿部秀二郎 橋永博 吉村旭輝 秋山演亮 藤山一郎	声田昌也 橋本唯子 千田まや 佐藤祐介 柳田礼子	全学部生	1	E1-101 E1-102 E1-103 L101（東2号館）	Q1	木	1	講義・演習	【必修】	1年生のみ履修可。ただし、2年生以上で取得できていない学生も履修可	C8001J1J010111a1
教養（基幹）	「教養の森」ゼミナール	「教養の森」ゼミナールA	1	G1001081_G1	橋本唯子	秋山演亮、佐藤祐介	全学部生	1/2/3/4	E1-206	Q1	金	1	演習	40		C01012J011011c1
教養（基幹）		「教養の森」ゼミナールB	1	G1001082_G1	橋本唯子	秋山演亮、佐藤祐介	全学部生	1/2/3/4	E1-206	Q2	金	1	演習	40		C01012J011011c1
教養（基幹）		「教養の森」ゼミナールC	1	G1001083_G1	橋本唯子	秋山演亮、佐藤祐介	全学部生	1/2/3/4	E1-206	Q3	金	1	演習	40		C01012J011011c1
教養（基幹）		「教養の森」ゼミナールD	1	G1001084_G1	橋本唯子	秋山演亮、佐藤祐介	全学部生	1/2/3/4	E1-206	Q4	金	1	演習	40		C01012J011011c1
教養（基幹）		サイエンス論	1	G1001007_G1	清田成紀	佐藤祐介	全学部生	1/2/3/4	E1-102	Q1	水	1	講義	有	1年生優先（システム工学部生は2年生優先） 「21世紀サイエンス論」の単位取得済みの学生は、この科目の取得はできない。	C01082J1010011b1
教養（基幹）	「教養の森」ゼミナール	哲学	1	G1001010_G1	小関彩子		全学部生	1/2/3/4	E1-103	Q1	水	1	講義	有	1年生優先（システム工学部生は2年生優先）	C01011J1010011b1
教養（基幹）		地球科学	1	G1001012_G1	此松昌彦		全学部生	1/2/3/4	E1-101	Q1	火	2	講義	有	1年生優先（システム工学部生は2年生優先）	C1705J1J010011b1
教養（基幹）		天文学	1	G1001011_G1	秋山演亮	富田晃彦、佐藤祐介	全学部生	1/2/3/4	E1-101	Q1	水	2	講義	有	1年生優先（システム工学部生は2年生優先）	C1601J1J010011b1
教養（基幹）		ジェンダー論	1	G1001017_G1	岡田真理子	金川めぐみ 本庄麻美子 森麻友子 藤永博	全学部生	1/2/3/4	E1-101	Q2	火	1	講義	有	1年生優先（システム工学部生は2年生優先）	C8003J1J010011b1
教養（基幹）	「教養の森」ゼミナール	生と死を考える	1	G1001018_G1	小関彩子		全学部生	1/2/3/4	E1-103	Q2	火	2	講義	有	1年生優先（システム工学部生は2年生優先）	C01011J1010011b1
教養（基幹）		ロボット学	1	G1001016_G1	村田頼信	丸嶋明 幹浩文 奥野恒久 中村恭之 吉田登 吉野孝	全学部生	1/2/3/4	E1-102	Q2	火	1	講義	有	1年生優先（システム工学部生は2年生優先）	C2002J1J010011b1
教養（基幹）		現代社会におけるリーダーシップ	1	G1001022_G1			全学部生	1/2/3/4	E1-103	Q2	火	1	講義	有	R7年度開講しない。1年生優先	C1001J1J011011b1
教養（基幹）		倫理学	1	G1001021_G1	小関彩子		全学部生	1/2/3/4	E1-103	Q2	水	1	講義・演習	有	1年生優先（システム工学部生は2年生優先）	C0702J1J010011b1
教養（基幹）	「教養の森」ゼミナール	経済学の考え方	1	G1001023_G1	阿部秀二郎		全学部生	1/2/3/4	E1-103	Q2	水	1	講義	有	1年生優先（システム工学部生は2年生優先）	C0103J1J010011b1
教養（基幹）		宗教学	1	G1001025_G1	小関彩子		全学部生	1/2/3/4	E1-101	Q2	水	1	講義	有	1年生優先（システム工学部生は2年生優先）	C0204J1J010011b1
教養（基幹）		文学	1	G1001026_G1	千田まや	（兵頭俊樹）	全学部生	1/2/3/4	E1-102	Q2	水	1	講義	有	1年生優先（システム工学部生は2年生優先）	C2503J1J010011b1
教養（基幹）		災害科学	1	G1001029_G1	此松昌彦	江種伸之	全学部生	1/2/3/4	E1-101	Q2	火	2	講義	有	1年生優先（システム工学部生は2年生優先）	C41012J010011b1
教養（基幹）	「教養の森」ゼミナール	食農学	1	G1001028_G1	岸上光克	荒木良一 佐久間康富	全学部生	1/2/3/4	E1-101	Q2	水	2	講義	有	1年生優先（システム工学部生は2年生優先）	C8001J1J010011b1
教養（基幹）		地成学	1	G1001027_G1		（三河巧） （熊下隆）	全学部生	1/2/3/4	E1-102	Q2	水	2	講義・演習	有	1年生優先（システム工学部生は2年生優先）	C0501J1J010011b1
教養（基幹）		知的財産権	2	G1000776_G1	坂間千秋		全学部生	1/2/3/4	E1-102	後期	火	2	講義	有		CS000J1J010011b1
教養（基幹）		論理的思考														
教養（基幹）		わかやまを学ぶ	2	G1000617_G1	吉村旭輝	古賀藤憲 此松昌彦 荒木良一 山神達也 長瀬利崇 平田隆行 小関彩子 長瀬香葉 遠藤理一 東悦子 本庄麻美子 未定	全学部生	1/2/3/4	E1-103	前期	金	4	講義	有	【わかやま日本学副専攻】「わかやま」学群 (H28～H31)	C8001J1J010112b1
教養（基幹）		社会科学方法論	2	G1000197_G1	内田みどり		全学部生	1/2/3/4	E1-205	前期	火	2	講義	50	「教養としての政治学」と隔年開講	C0104J1J010012b1

科目区分	科目群	科目名	単位数	時間コード	担当教員	複数担当教員	対象学部	配当年次	教室	開講学期	曜日	時限	授業形態	人数制限	備考	科目ナンバリング
教養(基幹)	科目群2「工学系」, その関連科目を参照する」	材料科学と技術展開	1	G1001013_G1									講義		R7年度開講しない。	C0908J1J010011b1
教養(基幹)	科目群2「工学系」, その関連科目を参照する」	固基から広がる数値の世界	2	G1000778_G1	(今村俊也)	藤永博 小田持人	全学部生	1/2/3/4	E1-210	前期	月	4	講義	50	有役者は履修不可	C6204J1J010012b1
教養(基幹)	科目群2「工学系」, その関連科目を参照する」	宇宙開発論	1	G1001032_G1	秋山清亮		全学部生	1/2/3/4	E1-101	Q1	木	2	講義	有		C1000J1J010011b1
教養(基幹)	科目群2「工学系」, その関連科目を参照する」	記憶力と認知力	2	G1000068_G1									講義		R7年度開講しない。隔年開講	C1000J1J01011b1
教養(基幹)	科目群2「工学系」, その関連科目を参照する」	驚異の小宇宙・人体	1	G1001033_G1									講義		R7年度開講しない。	C5902J1J010011b1
教養(基幹)	科目群2「工学系」, その関連科目を参照する」	心理學概論	2	G1000655_G1	木澤好史		全学部生	1/2/3/4	E1-101	前期	月	3	講義	有	◆遠隔授業 「心理学D」「心理学A」修得者 履修不可	C1000J1J01011b1
教養(基幹)	科目群2「工学系」, その関連科目を参照する」	心理學総論	2	G1000682_G1	判定百合子		全学部生	1/2/3/4	E1-101	後期	水	4	講義	有		C10032J1J010011b1
教養(基幹)	科目群3「経済系」, その関連科目を参照する」	障がい学生支援概論	2	G1000674_G1	森麻友子	古井克憲、小河健一	全学部生	1/2/3/4	E1-209	後期	金	3	講義	30		C1000J1J010011b1
教養(基幹)	科目群4「人文系」, その関連科目を参照する」	Survey of Pre-Modern Japanese Poetry in Translation	2	G1000535_G1									講義		R7年度開講しない。【わかやま日本学副専攻】	C0201E1J0100112b1
教養(基幹)	科目群4「人文系」, その関連科目を参照する」	Survey of Pre-Modern Japanese Prose in Translation	2	G1000536_G1									講義		R7年度開講しない。【わかやま日本学副専攻】	C0201E1J0100111b1
教養(基幹)	科目群4「人文系」, その関連科目を参照する」	学生生活の危機管理	2	G1000055_G1	豊田充崇	金川めぐみ 藤山一郎 比松昌彦 藤本章宏 森麻友子	全学部生	1/2/3/4	E1-101	前期	金	2	講義	有		C0905J1J010011b1
教養(基幹)	科目群4「人文系」, その関連科目を参照する」	教育學総論	2	G1000665_G1	谷口知美		全学部生	1/2/3/4	E1-103	後期	火	3	講義	有		C0901J1J010011b1
教養(基幹)	科目群4「人文系」, その関連科目を参照する」	日本学校教育史	2	G1001089_G1	越野尊史		全学部生	1/2/3/4	E1-203	前期	火	2	講義	有	「近代日本の教育課題」「現代日本の教育課題」のどちらか一方でも単位修得済みの場合、履修できない	C0901J1J010011b1
教養(基幹)	科目群4「人文系」, その関連科目を参照する」	研究倫理	1	G1001039_G1	仙内映之		全学部生	2/3/4	E1-101	Q3	月	3	講義・演習	有		C0108J1J010012b1
教養(基幹)	科目群4「人文系」, その関連科目を参照する」	技術者倫理	1	G1001040_G1	仙内映之		全学部生	2/3/4	E1-101	Q4	月	3	講義・演習	有	卒業研究に取り組む前に履修することを目指す。	C0108J1J010012b1
教養(基幹)	科目群4「人文系」, その関連科目を参照する」	和歌川企業トップ経営論	2	G1000551_G1	川端由美子		全学部生	1/2/3/4	E1-101	後期	木	2	講義	有	「わかやま」学群 (H28～H31)	C07082J1J01011b2
新 新 教養(基幹)	科目群4「人文系」, その関連科目を参照する」	Japan's Dreams of Affluence	2	G1001095_G1	Gabrakova Dennitza Stefanova		全学部生	1/2/3/4	E1-305	前期	木	2	講義・演習	有	【わかやま日本学副専攻】	C03032E1J11111b1
新 新 教養(基幹)	科目群4「人文系」, その関連科目を参照する」	Japanese Literature and Furusato	2	G1001096_G1	Gabrakova Dennitza Stefanova		全学部生	1/2/3/4	E1-305	後期	木	3	講義・演習	有	【わかやま日本学副専攻】	C0201E1J11111b1
教養(基幹)	科目群5「国際系」, その関連科目を参照する」	ASEANと日本	2	G1000632_G1	藤山一郎		全学部生	1/2/3/4	E1-101	後期	木	4	講義	有	【わかやま日本学副専攻】	C8001J2J010011b1
教養(基幹)	科目群5「国際系」, その関連科目を参照する」	教養としての政治学	2	G1000096_G1									講義		R7年度開講しない。「社会科学方法論」と隔年開講	C0601J1J010012b1
教養(基幹)	科目群5「国際系」, その関連科目を参照する」	国際協力論	2	G1000689_G1	藤山一郎		全学部生	1/2/3/4	E1-101	前期	木	3	講義	有	【わかやま日本学副専攻】	C06022J0101011b1
教養(基幹)	科目群5「国際系」, その関連科目を参照する」	多様な視点からみる現代東南アジア	1	G1001076_G1	藤山一郎		全学部生	1/2/3/4	E1-101	Q2	水	3	講義	有	R7年度まで開講。【わかやま日本学副専攻】	C8001J1J000111b2
教養(基幹)	科目群5「国際系」, その関連科目を参照する」	国際開発論	2	G1000631_G1	藤山一郎		全学部生	1/2/3/4	E1-206	前期	金	3	講義・演習	25	【わかやま日本学副専攻】国際共修型授業として留学生とともに演習を取り入れた授業を実施するため、人数制限をおこなう。	C0602J1J011111b2
教養(基幹)	科目群5「国際系」, その関連科目を参照する」	国際開発論	2	G1000631_G2	飯田次郎		全学部生	1/2/3/4	E1-206	後期	木	2	講義・演習	25	【わかやま日本学副専攻】国際共修型授業として留学生とともに演習を取り入れた授業を実施するため、人数制限をおこなう。	C0602J1J011111b2
教養(基幹)	科目群5「国際系」, その関連科目を参照する」	国際化時代の文化と思想	2	G1000151_G1	内田みどり	金澤孝彰 三品希穂 千田まや マクレビ・ナヒル フスナ・ザイデル・ア ビディン	全学部生	1/2/3/4	E1-205	後期	火	2	講義	50		C0602J1J010111b1
教養(基幹)	科目群5「国際系」, その関連科目を参照する」	世界の情報通信研究を知る	2	G1000855_G1	西村竜一	齋藤真人 (非常勤講師1) (非常勤講師2) (非常勤講師3) (非常勤講師4) (非常勤講師5)	全学部生	1/2/3/4	E1-101	後期	火	2	講義	有		C6000J1J010011b1
教養(基幹)	科目群5「国際系」, その関連科目を参照する」	ドイツの歴史と文化	2	G1001043_G1	千田まや		全学部生	1/2/3/4	E1-205	後期	火	3	講義	60		C0304J1J010011b1
教養(基幹)	科目群5「国際系」, その関連科目を参照する」	グローバル・エネルギー・トレンド	1	G1001080_G1	藤井淳		全学部生	1/2	E1-101	Q3	金	3	講義	有	社会インフラマティクス専攻優先	C0708J1J011111b2
教養(基幹)	科目群5「国際系」, その関連科目を参照する」	日本学概論	2	G1001085_G1	安本博司		全学部生	1/2/3/4	E1-103	前期	月	2	講義	有	【わかやま日本学副専攻】	C0209J1J011111b2
教養(基幹)	科目群5「国際系」, その関連科目を参照する」	日本学概論	2	G1001085_G2	安本博司		全学部生	1/2/3/4	E1-102	後期	月	2	講義	有	【わかやま日本学副専攻】	C0209J1J011111b2

科目区分	科目群	科目名	単位数	時間割コード	担当教員	複数担当教員	対象学部	配当年次	教室	開講学期	曜日	時間	授業形態	人数制限	備考	科目ナンバリング
教養（基幹）	外国語Ⅰ（英語・フランス語・ドイツ語・中国語・韓国語・ロシア語）	Environmental Dialogs	1	G1001090_G1	Gabrakova Dennitza	Stefanova	全学部生	1/2/3/4	E1-305	Q1	木	3	講義・演習	有	海外の大学への留学を希望している学生に履修を推奨します。	CS0001E1010111b2
教養（基幹）	外国語Ⅱ（英語・フランス語・ドイツ語・中国語・韓国語・ロシア語）	Environmental Dialogs	1	G1001090_G2	Gabrakova Dennitza	Stefanova	全学部生	1/2/3/4	E1-305	Q3	木	2	講義・演習	有	海外の大学への留学を希望している学生に履修を推奨します。	CS0001E1010111b2
教養（基幹）	外国語Ⅲ（英語・フランス語・ドイツ語・中国語・韓国語・ロシア語）	観光と色彩	2	G1000064_G1	北村元成	平田優行	全学部生	1/2/3/4	情報センター 第3演習室	前期	火	2	講義・演習	70		C8002J101010112b1
教養（基幹）	外国語Ⅳ（英語・フランス語・ドイツ語・中国語・韓国語・ロシア語）	自然災害と防災・減災	2	G1000691_G1	此松昌彦	塚田英司 小河健一	全学部生	1/2/3/4	E1-101	後期	金	4	講義	有		C2503J101010111b1
教養（基幹）	外国語Ⅴ（英語・フランス語・ドイツ語・中国語・韓国語・ロシア語）	災害ボランティア学	1	G1001077_G1									講義		R7年度開講しない。	C8002J101011111b2
教養（基幹）	外国語Ⅵ（英語・フランス語・ドイツ語・中国語・韓国語・ロシア語）	事前復興まちづくり学	1	G1001078_G1									講義		R7年度開講しない。隔年開講	C8001J101011111b2
教養（基幹）	外国語Ⅶ（英語・フランス語・ドイツ語・中国語・韓国語・ロシア語）	災害時の交通を考える	1	G1001086_G1	西川一弘		全学部生	1/2/3/4	E1-206	Q3	金	2	講義	有	「自然災害と防災・減災」を履修することを推奨する。	C22052J1010111b2
教養（基幹）	外国語Ⅷ（英語・フランス語・ドイツ語・中国語・韓国語・ロシア語）	人文地理学	2	G1000244_G1	山神達也		全学部生	1/2/3/4	E1-303	前期	水	2	講義	有		C0402J101010111b1
教養（基幹）	外国語Ⅸ（英語・フランス語・ドイツ語・中国語・韓国語・ロシア語）	地域協働セミナー	2	G1000719_G1									講義		R7年度開講しない。わかやま未来学園専攻（R5年度以前入学生対象）	C8001J101011111b2
教養（基幹）	外国語Ⅹ（英語・フランス語・ドイツ語・中国語・韓国語・ロシア語）	アントレプレナーシップ基礎	1	G1001079_G1									講義		R7年度開講しない。	C0708J101010111b1
教養（基幹）	外国語Ⅺ（英語・フランス語・ドイツ語・中国語・韓国語・ロシア語）	キャリアをともに考える	1	G1001092_G1	川端由美子		全学部生	1/2/3/4	E1-101	Q2	木	1	講義	有	「アントレプレナーシップ基礎」修得者は履修不可	C0708J101010111b1
教養（基幹）	外国語Ⅻ（英語・フランス語・ドイツ語・中国語・韓国語・ロシア語）	日本国憲法	2	G1000365_G1	森口佳樹		全学部生	1/2/3/4	E1-101	前期	水	4	講義	有	教育学部生優先、経済学部教職学生優先・システム工学部生教職学生優先	C0502J1010011b1
教養（基幹）	外国語Ⅼ（英語・フランス語・ドイツ語・中国語・韓国語・ロシア語）	民俗芸術論	2	G1000628_G1	吉村旭輝		全学部生	1/2/3/4	E1-103	前期	木	3	講義	有	【わかやま日本学園専攻】	C0403J101010112b1
教養（基幹）	外国語Ⅽ（英語・フランス語・ドイツ語・中国語・韓国語・ロシア語）	わかやまの先人たち	2	G1000677_G1	橋本唯子		全学部生	1/2/3/4	E1-101	前期	金	3	講義	有	【わかやま】学群（H28～H31）	C0302J1010012b1
教養（実践）	数理・データサイエンス科目	データサイエンスへの誘いA	1	G1001045_G1	吉野孝	三浦浩一、西村竜一	全学部生	1/2/3/4	E1-208	Q1	木	6	講義・演習	-	◆遠隔授業 全学部生同一クラスでの開講	C6003J1010021d1
教養（実践）	数理・データサイエンス科目	データサイエンスへの誘いB	1	G1001046_G1	吉野孝	三浦浩一、西村竜一	全学部生	1/2/3/4	E1-208	Q2	木	6	講義・演習	-	◆遠隔授業 全学部生同一クラスでの開講	C6003J1010021d1
教養（実践）	数理・データサイエンス科目	データサイエンスへの誘いA	1	G1001045_G2	吉野孝	三浦浩一、西村竜一	全学部生（再履修）	1/2/3/4	E1-208	Q3	木	6	講義・演習	有	◆遠隔授業 全学部生同一クラスでの開講	C6003J1010021d1
教養（実践）	数理・データサイエンス科目	データサイエンスへの誘いB	1	G1001046_G2	吉野孝	三浦浩一、西村竜一	全学部生（再履修）	1/2/3/4	E1-208	Q4	木	6	講義・演習	有	◆遠隔授業 全学部生同一クラスでの開講	C6003J1010021d1
教養（実践）	数理・データサイエンス科目	データサイエンス入門A	1	G1001047_G1	吉野孝	三浦浩一、西村竜一	全学部生	1/2/3/4	E1-208	Q3	木	6	講義・演習	-	◆遠隔授業 「データサイエンス入門」修得者履修不可	C6003J1010021d2
教養（実践）	数理・データサイエンス科目	データサイエンス入門B	1	G1001048_G1	吉野孝	三浦浩一、西村竜一	全学部生	1/2/3/4	E1-208	Q4	木	6	講義・演習	-	◆遠隔授業 「データサイエンス入門」修得者履修不可	C6003J1010021d2
教養（実践）	情報処理科目	情報処理ⅠA	1	G1001049_G1	井嶋博	豊田充崇	教育学部	1		Q1	金	2	演習	【必修】	◆遠隔授業	C6000J1010021d1
教養（実践）	情報処理科目	情報処理ⅠA	1	G1001049_G2	井嶋博	豊田充崇	教育学部	1		Q1	金	3	演習	【必修】	◆遠隔授業	C6000J1010021d1
教養（実践）	情報処理科目	情報処理ⅠA	1	G1001049_G4	芦田昌也		経済学部	1		Q1	月	6	演習	【必修】	◆遠隔授業	C6000J1010021d1
教養（実践）	情報処理科目	情報処理ⅠA	1	G1001049_G5	芦田昌也		経済学部・社会インフォマティクス 学履	1		Q1	火	6	演習	【必修】	◆遠隔授業	C6000J1010021d1
教養（実践）	情報処理科目	情報処理ⅠA	1	G1001049_G7	河崎昌之	村川猛彦	システム工学部	1		Q1	木	3	演習	【必修】	◆遠隔授業	C6000J1010021d1
教養（実践）	情報処理科目	情報処理ⅠA	1	G1001049_G9	豊田裕介	村川猛彦	システム工学部	1		Q1	木	3	演習	【必修】	◆遠隔授業	C6000J1010021d1
教養（実践）	情報処理科目	情報処理ⅠA	1	G1001049_G8	村川猛彦	河崎昌之、豊田裕介	システム工学部	1		Q1	集中		演習	【必修】	◆遠隔授業	C6000J1010021d1
教養（実践）	情報処理科目	情報処理ⅠA	1	G1001049_Gd	佐々木杜太郎	観光学部	1			Q1	月	6	演習	【必修】	◆遠隔授業	C6000J1010021d1
教養（実践）	情報処理科目	情報処理ⅠA	1	G1001049_G6	芦田昌也		経済学部・社会インフォマティクス 学履（再履修）	1		Q3	火	6	演習	【必修】	◆遠隔授業	C6000J1010021d1
教養（実践）	情報処理科目	情報処理ⅠB	1	G1001050_G1	井嶋博	豊田充崇	教育学部	1		Q2	金	2	演習	【必修】	◆遠隔授業	C6000J1010021d2
教養（実践）	情報処理科目	情報処理ⅠB	1	G1001050_G2	井嶋博	豊田充崇	教育学部	1		Q2	金	3	演習	【必修】	◆遠隔授業	C6000J1010021d2
教養（実践）	情報処理科目	情報処理ⅠB	1	G1001050_G4	芦田昌也		経済学部	1		Q2	月	6	演習	【必修】	◆遠隔授業	C6000J1010021d2
教養（実践）	情報処理科目	情報処理ⅠB	1	G1001050_G5	芦田昌也		経済学部・社会インフォマティクス 学履	1		Q2	火	6	演習	【必修】	◆遠隔授業	C6000J1010021d2
教養（実践）	情報処理科目	情報処理ⅠB	1	G1001050_G7	河崎昌之	村川猛彦	システム工学部	1		Q2	木	3	演習	【必修】	◆遠隔授業	C6000J1010021d2
教養（実践）	情報処理科目	情報処理ⅠB	1	G1001050_G9	豊田裕介	村川猛彦	システム工学部	1		Q2	木	3	演習	【必修】	◆遠隔授業	C6000J1010021d2

科目区分	科目群	科目名	単位数	時間コード	担当教員	複数担当教員	対象学部	配当年次	教室	開講学期	曜日	時間	授業形態	人数制限	備考	科目ナンバリング
新 教養（実践）	情報処理科目	情報処理ⅠB	1	G1001050_G8	村川猛彦	河崎昌之、最田裕介	システム工学部	1		Q2	集中		演習	【必修】	◆遠隔授業	C6000011010021d2
	情報処理科目	情報処理ⅠB	1	G1001050_Gd	佐々木壮太郎		観光学部	1		Q2	月	6	演習	【必修】	◆遠隔授業	C6000011010021d2
	情報処理科目	情報処理ⅠB	1	G1001050_G6	芦田昌也		経済学部・社会イ ンフォマティクス 学職（再履修）	1		Q4	火	6	演習	【必修】	◆遠隔授業	C6000011010021d2
	情報処理科目	情報処理ⅠA	1	G1001051_G1	芦田昌也		教育・経済・観 光・社会インフォマ ティクス学職	1		Q3	月	6	演習	70	◆遠隔授業 社会インフォマティクス学履生優先	C6000021010021d3
	情報処理科目	情報処理ⅠA	1	G1001051_G6	田内裕人	葛岡成晃	システム工学部	1		Q3	木	4	演習	【必修】	◆遠隔授業	C6000021010021d3
	情報処理科目	情報処理ⅠA	1	G1001051_G5	村川猛彦	葛岡成晃	システム工学部	1		Q3	木	4	演習	【必修】	◆遠隔授業	C6000021010021d3
	情報処理科目	情報処理ⅠA	1	G1001051_G4	葛岡成晃	村川猛彦、田内裕人	システム工学部	1		Q3	集中		演習	【必修】	◆遠隔授業	C6000021010021d3
	情報処理科目	情報処理ⅠB	1	G1001052_G1	芦田昌也		教育・経済・観 光・社会インフォマ ティクス学職	1		Q4	月	6	演習	70	◆遠隔授業 社会インフォマティクス学履生優先	C6000021010021d4
	情報処理科目	情報処理ⅠB	1	G1001052_G6	田内裕人	葛岡成晃	システム工学部	1		Q4	木	4	演習	【必修】	◆遠隔授業	C6000021010021d4
	情報処理科目	情報処理ⅠB	1	G1001052_G5	村川猛彦	葛岡成晃	システム工学部	1		Q4	木	4	演習	【必修】	◆遠隔授業	C6000021010021d4
新 教養（実践）	情報処理科目	情報処理ⅠB	1	G1001052_G4	葛岡成晃	村川猛彦、田内裕人	システム工学部	1		Q4	集中		演習	【必修】	◆遠隔授業	C6000021010021d4
	言語教育科目	英語 A 1	2	G2L10099_G1	（江利川春雄）		教育学部	1	EL-301	前期	水	3	演習	【必修】		C0210210010121d1
	言語教育科目	英語 B 1	2	G2L10107_G1	森本光		教育学部	1	EL-201	前期	水	3	演習	【必修】		C0210210010121d1
	言語教育科目	英語 C 1	2	G2L10115_G1	（松田ディビッド）		教育学部	1	EL-305	前期	水	3	演習	【必修】		C02102E0010121d1
	言語教育科目	英語 D 1	2	G2L10123_G1									演習		R7年度開講しない。	
	言語教育科目	英語 E 1	2	G2L10131_G1									演習		R7年度開講しない。	
	言語教育科目	英語 F 1	2	G2L10139_G1	（林智之）		教育学部	1	EL-304	前期	水	3	演習	【必修】		C0210210010121d1
	言語教育科目	英語 A 2	2	G2L10100_G1	（橋永真理子）		教育学部	1	EL-206	後期	水	3	演習	【必修】		C0210210010121d2
	言語教育科目	英語 B 2	2	G2L10108_G1									演習		R7年度開講しない。	
	言語教育科目	英語 C 2	2	G2L10116_G1	（松田ディビッド）		教育学部	1	EL-305	後期	水	3	演習	【必修】		C02102E0010121d2
新 教養（実践）	言語教育科目	英語 D 2	2	G2L10124_G1									演習		R7年度開講しない。	
	言語教育科目	英語 E 2	2	G2L10132_G1	（江利川春雄）		教育学部	1	EL-301	後期	水	3	演習	【必修】		C0210210010121d2
	言語教育科目	英語 F 2	2	G2L10140_G1	（林智之）		教育学部	1	EL-304	後期	水	3	演習	【必修】		C0210210010121d2
	言語教育科目	英語 G 2	2	G2L10070_G1									演習		R7年度開講しない。	
	言語教育科目	英語 A 3	2	G2L10101_G1	（高橋信隆）		教育学部	2	EL-210	前期	金	3	演習	【必修】		C0210210010122d3
	言語教育科目	英語 B 3	2	G2L10109_G1									演習		R7年度開講しない。	
	言語教育科目	英語 C 3	2	G2L10117_G1	（江利川春雄）		教育学部	2	EL-306	前期	金	3	演習	【必修】		C0210210010122d3
	言語教育科目	英語 D 3	2	G2L10125_G1	（澤邊眞平）		教育学部	2	EL-209	前期	金	3	演習	【必修】		C0210210010122d3
	言語教育科目	英語 E 3	2	G2L10133_G1	（高橋貴夫）		教育学部	2	EL-208	前期	金	3	演習	【必修】		C0210210010122d3
	言語教育科目	英語 F 3	2	G2L10141_G1	松山哲也		教育学部	2	EL-304	前期	金	3	演習	【必修】		C0210210010122d3
新 教養（実践）	言語教育科目	英語 G 3	2	G2L180048_G1	（松田佳奈）		教育学部	2	EL-301	前期	金	3	演習	【必修】		C0210210010122d3
	言語教育科目	英語 H 3	2	G2L180049_G1									演習		R7年度開講しない。	
	言語教育科目	英語 A 4	2	G2L10102_G1									演習		R7年度開講しない。	
	言語教育科目	英語 B 4	2	G2L10110_G1									演習		R7年度開講しない。	
	言語教育科目	英語 C 4	2	G2L10118_G1	（江利川春雄）		教育学部	2	EL-306	後期	金	1	演習	【必修】		C0210210010122d4
	言語教育科目	英語 D 4	2	G2L100303_G1	（澤邊眞平）		教育学部	2	EL-209	後期	金	1	演習	【必修】		C0210210010122d4
	言語教育科目	英語 E 4	2	G2L10134_G1	（高橋貴夫）		教育学部	2	EL-208	後期	金	1	演習	【必修】		C0210210010122d4
	言語教育科目	英語 F 4	2	G2L10142_G1	（高橋信隆）		教育学部	2	EL-210	後期	金	1	演習	【必修】		C0210210010122d4
	言語教育科目	英語 G 4	2	G2L180050_G1	松山哲也		教育学部	2	EL-201	後期	金	1	演習	【必修】		C0210210010122d4
	言語教育科目	英語 H 4	2	G2L180051_G1									演習		R7年度開講しない。	
新 教養（実践）	言語教育科目	外国語コミュニケーション1 A	1	G2001001_G1	（Nicholas Bradford）		教育学部	1	EL-301	後期	木	3	演習	【必修】	講義設定（6 6条の6）、7 1期以前は専攻共通として扱う	C02102E0010121d5
	言語教育科目	外国語コミュニケーション1 B	1	G2001002_G1	（鳥野ラナ）		教育学部	1	EL-306	後期	木	3	演習	【必修】	講義設定（6 6条の6）、7 1期以前は専攻共通として扱う	C02102E0010121d5
	言語教育科目	外国語コミュニケーション1 C	1	G2001003_G1	（Brown Daniel）		教育学部	1	EL-304	後期	木	3	演習	【必修】	講義設定（6 6条の6）、7 1期以前は専攻共通として扱う	C02102E0010121d5
	言語教育科目	外国語コミュニケーション1 D	1	G2001004_G1	（Brown Daniel）		教育学部	1	EL-304	後期	木	4	演習	【必修】	講義設定（6 6条の6）、7 1期以前は専攻共通として扱う	C02102E0010121d5
	言語教育科目	外国語コミュニケーション1 E	1	G2001005_G1									演習		R7年度開講しない。	
	言語教育科目	外国語コミュニケーション1 F	1	G2001006_G1	（Nicholas Bradford）		教育学部	1	EL-301	後期	木	4	演習	【必修】	講義設定（6 6条の6）、7 1期以前は専攻共通として扱う	C02102E0010121d5
	言語教育科目	外国語コミュニケーション2 A	1	G2001007_G1	（Brown Daniel）		教育学部	2	EL-209	前期	木	4	演習	【必修】	講義設定（6 6条の6）、7 1期以前は専攻共通として扱う	C02102E0010122d6
	言語教育科目	外国語コミュニケーション2 B	1	G2001008_G1	（Nicholas Bradford）		教育学部	2	EL-304	前期	木	4	演習	【必修】	講義設定（6 6条の6）、7 1期以前は専攻共通として扱う	C02102E0010122d6
	言語教育科目	外国語コミュニケーション2 C	1	G2001009_G1	（鳥野ラナ）		教育学部	2	EL-301	前期	木	4	演習	【必修】	講義設定（6 6条の6）、7 1期以前は専攻共通として扱う	C02102E0010122d6
	言語教育科目	外国語コミュニケーション2 D	1	G2001010_G1	（Collins, Kevin Keyes）		教育学部	2	EL-210	前期	木	3	演習	【必修】	講義設定（6 6条の6）、7 1期以前は専攻共通として扱う	C02102E0010122d6

科目区分	科目群	科目名	単位数	時間コード	担当教員	複数担当教員	対象学部	配当年次	教室	開講学期	曜日	時間	授業形態	人数制限	備考	科目ナンバリング
教養（実践）	言語教育科目	外国語コミュニケーション2 E	1	G2001011_G1	(Nicholas Bradford)		教育学部	2	E1-304	前期	木	3	演習	【必修】	講義認定（6 6条の6）、7 1期以前は専攻共通として扱う	C02102E0001012246
教養（実践）	言語教育科目	外国語コミュニケーション2 F	1	G2001012_G1	(Brown Daniel)		教育学部	2	E1-209	前期	木	3	演習	【必修】	講義認定（6 6条の6）、7 1期以前は専攻共通として扱う	C02102E0001012246
教養（実践）	言語教育科目	英語A	2	G2001013_G1	(遠藤史)		経済学部	1	E1-210	前期	月	1	演習	【必修】		C0210210010121d1
教養（実践）	言語教育科目	英語A	2	G2001013_G2	(遠藤史)		経済学部	1	E1-210	前期	月	2	演習	【必修】		C0210210010121d1
教養（実践）	言語教育科目	英語A	2	G2001013_G3	(瀧口智子)		経済学部	1	E1-208	前期	月	3	演習	【必修】		C0210210010121d1
教養（実践）	言語教育科目	英語A	2	G2001013_G4	(瀧口智子)		経済学部	1	E1-208	前期	月	2	演習	【必修】		C0210210010121d1
教養（実践）	言語教育科目	英語A	2	G2001013_G5	(遠藤史)		経済学部	1	E1-210	前期	月	3	演習	【必修】		C0210210010121d1
教養（実践）	言語教育科目	英語A	2	G2001013_G6	(江利川春雄)		経済学部	1	E1-306	前期	月	2	演習	【必修】		C0210210010121d1
教養（実践）	言語教育科目	英語A	2	G2001013_G9	(Nicholas Bradford)		経済学部	1	E1-209	前期	月	3	演習	【必修】		C02102E00010121d1
教養（実践）	言語教育科目	英語A	2	G2001013_Ga	(松田佳奈)		経済学部	1	E1-301	前期	月	2	演習	【必修】		C0210210010121d1
教養（実践）	言語教育科目	英語B	2	G2001014_G1	(松田佳奈)		経済学部	1	E1-301	前期	月	3	演習	【必修】		C0210210010121d1
教養（実践）	言語教育科目	英語B	2	G2001014_G2	(遠藤史)		経済学部	1	E1-210	後期	月	1	演習	【必修】		C0210210010121d2
教養（実践）	言語教育科目	英語B	2	G2001014_G3	(瀧口智子)		経済学部	1	E1-208	後期	月	2	演習	【必修】		C0210210010121d2
教養（実践）	言語教育科目	英語B	2	G2001014_G4	(瀧口智子)		経済学部	1	E1-208	後期	月	3	演習	【必修】		C0210210010121d2
教養（実践）	言語教育科目	英語B	2	G2001014_G5	(遠藤史)		経済学部	1	E1-210	後期	月	2	演習	【必修】		C0210210010121d2
教養（実践）	言語教育科目	英語B	2	G2001014_G8	(江利川春雄)		経済学部	1	E1-306	後期	月	2	演習	【必修】		C0210210010121d2
教養（実践）	言語教育科目	英語B	2	G2001014_G9	(Nicholas Bradford)		経済学部	1	E1-301	後期	月	3	演習	【必修】		C02102E00010121d2
教養（実践）	言語教育科目	英語B	2	G2001014_Ga	(松田佳奈)		経済学部	1	E1-201	後期	月	2	演習	【必修】		C0210210010121d2
教養（実践）	言語教育科目	英語C	2	G2001015_G1	(松田佳奈)		経済学部	1	E1-305	前期	月	3	演習	【必修】		C0210210010121d1
教養（実践）	言語教育科目	英語C	2	G2001015_G2	(松田佳奈)		経済学部	1	E1-305	前期	月	2	演習	【必修】		C02102E00010121d1
教養（実践）	言語教育科目	英語C	2	G2001015_G3	(松田ディビッド)		経済学部	1	E1-305	前期	月	2	演習	【必修】		C02102E00010121d1
教養（実践）	言語教育科目	英語C	2	G2001015_G4	(松田ディビッド)		経済学部	1	E1-305	前期	月	2	演習	【必修】		C02102E00010121d1
教養（実践）	言語教育科目	英語D	2	G2001016_G6			経済						演習		R7年度開講しない。	
教養（実践）	言語教育科目	英語D	2	G2001016_G1	(松田佳奈)		経済						演習		R7年度開講しない。	
教養（実践）	言語教育科目	英語D	2	G2001016_G2	(松田佳奈)		経済	1	E1-209	後期	木	3	演習	【必修】		C0210210010121d2
教養（実践）	言語教育科目	英語D	2	G2001016_G3	(松田佳奈)		経済	1	E1-209	後期	木	3	演習	【必修】		C0210210010121d2
教養（実践）	言語教育科目	英語D	2	G2001016_G4	(瀧口智子)		経済	1	E1-208	後期	月	1	演習	【必修】		C0210210010121d2
教養（実践）	言語教育科目	英語D	2	G2001016_G5	(松田ディビッド)		経済	1	E1-305	後期	月	2	演習	【必修】		C02102E00010121d2
教養（実践）	言語教育科目	英語D	2	G2001016_G6	(松田ディビッド)		経済						演習		R7年度開講しない。	
教養（実践）	言語教育科目	英語C	2	G2001015_G5	(瀧口智子)		経済（再編修クラス）	1/2/3/4	E1-208	後期	木	3	演習	【必修】		C0210210010121d1
教養（実践）	言語教育科目	英語D	2	G2001016_G5	(瀧口智子)		経済（再編修クラス）	1/2/3/4	E1-208	後期	木	4	演習	【必修】		C0210210010121d2
教養（実践）	言語教育科目	英語A	2	G2001013_Gc	(藤永真理子)		経済（再編修クラス）	2/3/4	E1-206	前期	月	4	演習	【必修】		C0210210010121d1
教養（実践）	言語教育科目	英語B	2	G2001014_Gc	(松田佳奈)		経済（再編修クラス）	2/3/4	E1-201	後期	月	4	演習	【必修】		C0210210010121d2
教養（実践）	言語教育科目	英語A	2	G2001017_G1	(松田ディビッド)		経済学部	2/3/4	E1-305	前期	金	3	演習	有		C02102E00010122d3
教養（実践）	言語教育科目	英語B	2	G2001018_G1			経済学部						演習		R7年度開講しない。	
教養（実践）	言語教育科目	英語I	2	G2S10014_G1	(松田佳奈)		システム工学部	1	E1-301	前期	金	2	演習	【必修】		C0210210010121d1
教養（実践）	言語教育科目	英語I	2	G2S10014_G2	(江利川春雄)		システム工学部	1	E1-306	前期	金	2	演習	【必修】		C0210210010121d1
教養（実践）	言語教育科目	英語I	2	G2S10014_G3	柳田礼子		システム工学部	1	E1-201	前期	金	2	演習	【必修】		C0210210010121d1
教養（実践）	言語教育科目	英語I	2	G2S10014_G9	(Collins, Kevin Keys)		システム工学部	1	E1-210	前期	金	2	演習	【必修】		C02102E00010121d1
教養（実践）	言語教育科目	英語I	2	G2S10014_G4	(高橋信隆)		システム工学部	1	E1-210	前期	金	4	演習	【必修】		C0210210010121d1
教養（実践）	言語教育科目	英語I	2	G2S10014_G5	(澤邊眞平)		システム工学部	1	E1-209	前期	金	4	演習	【必修】		C0210210010121d1
教養（実践）	言語教育科目	英語I	2	G2S10014_G6	(江利川春雄)		システム工学部	1	E1-306	前期	金	4	演習	【必修】		C0210210010121d1
教養（実践）	言語教育科目	英語I	2	G2S10014_G7	柳田礼子		システム工学部	1	E1-201	前期	金	4	演習	【必修】		C0210210010121d1
教養（実践）	言語教育科目	英語I	2	G2S10014_G8	(高橋章夫)		システム工学部	1	E1-208	前期	金	4	演習	【必修】		C0210210010121d1
教養（実践）	言語教育科目	英語I	2	G2S10014_Ga	(Brown Daniel)		システム工学部	1	E1-209	前期	金	2	演習	【必修】		C02102E00010121d1
教養（実践）	言語教育科目	英語II	2	G2S10022_G1	(澤邊眞平)		システム工学部	1	E1-209	後期	金	2	演習	【必修】		C0210210010121d2
教養（実践）	言語教育科目	英語II	2	G2S10022_G2	柳田礼子		システム工学部	1	E1-201	後期	金	2	演習	【必修】		C0210210010121d2
教養（実践）	言語教育科目	英語II	2	G2S10022_G3	(Brown Daniel)		システム工学部	1	E1-301	後期	金	2	演習	【必修】		C02102E00010121d2
教養（実践）	言語教育科目	英語II	2	G2S10022_G4	(高橋章夫)		システム工学部	1	E1-208	後期	金	2	演習	【必修】		C0210210010121d2
教養（実践）	言語教育科目	英語II	2	G2S10022_G5	(高橋信隆)		システム工学部	1	E1-210	後期	金	2	演習	【必修】		C0210210010121d2
教養（実践）	言語教育科目	英語II	2	G2S10022_G6	(江利川春雄)		システム工学部	1	E1-306	後期	金	2	演習	【必修】		C0210210010121d2

科目区分	科目群	科目名	単位数	時間割コード	担当教員	複数担当教員	対象学部	配当年次	教室	開講学期	曜日	時間	授業形態	人数制限	備考	科目ナンバリング
教養(実践)	言語教育科目	英語Ⅱ	2	G2S70022_G7	(新橋章夫)		システム工学部	1	E1-208	後期	金	4	演習	【必修】		C0210210010121d2
教養(実践)	言語教育科目	英語Ⅱ	2	G2S70022_G8	(江利川春雄)		システム工学部	1	E1-306	後期	金	4	演習	【必修】		C0210210010121d2
教養(実践)	言語教育科目	英語Ⅱ	2	G2S70022_G9	松山哲也		システム工学部	1	E1-201	後期	金	4	演習	【必修】		C0210210010121d2
教養(実践)	言語教育科目	英語Ⅱ	2	G2S70022_Ga	(澤田眞平)		システム工学部	1	E1-209	後期	金	4	演習	【必修】		C0210210010121d2
教養(実践)	言語教育科目	英語Ⅱ	2	G2S70023_G1	(江利川春雄)		システム工学部	2	E1-301	前期	水	4	演習	【必修】		C0210210010122d3
教養(実践)	言語教育科目	英語Ⅱ	2	G2S70023_G2	森本光		システム工学部	2	E1-201	前期	水	4	演習	【必修】		C0210210010122d3
教養(実践)	言語教育科目	英語Ⅱ	2	G2S70023_G3	(藤永真理子)		システム工学部	2	E1-305	前期	水	4	演習	【必修】		C0210210010122d3
教養(実践)	言語教育科目	英語Ⅱ	2	G2S70023_G4	(松田ディビッド)		システム工学部	2	E1-306	前期	水	4	演習	【必修】		C0210210010122d3
教養(実践)	言語教育科目	英語Ⅱ	2	G2S70023_G5	(林智之)		システム工学部	2	E1-304	前期	水	4	演習	【必修】		C0210210010122d3
教養(実践)	言語教育科目	英語Ⅲ	2	G2S70023_G6									演習		R7年度開講しない。	
教養(実践)	言語教育科目	英語Ⅲ	2	G2S70023_G7	梅田礼子		システム工学部	2	E1-201	前期	木	2	演習	【必修】		C0210210010122d3
教養(実践)	言語教育科目	英語Ⅲ	2	G2S70023_G8	(江利川春雄)		システム工学部	2	E1-208	前期	木	2	演習	【必修】		C0210210010122d3
教養(実践)	言語教育科目	英語Ⅲ	2	G2S70023_G9	(Brown Daniel)		システム工学部	2	E1-209	前期	木	2	演習	【必修】		C0210210010122d3
教養(実践)	言語教育科目	英語Ⅲ	2	G2S70023_Ga	(鳥野ラナ)		システム工学部	2	E1-306	前期	木	2	演習	【必修】		C0210210010122d3
教養(実践)	言語教育科目	英語Ⅳ	2	G2S70024_G1	(林智之)		システム工学部	2	E1-304	後期	木	4	演習	【必修】		C0210210010122d4
教養(実践)	言語教育科目	英語Ⅳ	2	G2S70024_G2	(松田ディビッド)		システム工学部	2	E1-305	後期	水	4	演習	【必修】		C0210210010122d4
教養(実践)	言語教育科目	英語Ⅳ	2	G2S70024_G3	(江利川春雄)		システム工学部	2	E1-301	後期	水	4	演習	【必修】		C0210210010122d4
教養(実践)	言語教育科目	英語Ⅳ	2	G2S70024_G4	梅田礼子		システム工学部	2	E1-201	後期	水	4	演習	【必修】		C0210210010122d4
教養(実践)	言語教育科目	英語Ⅳ	2	G2S70024_G5	(藤永真理子)		システム工学部	2	E1-206	後期	水	4	演習	【必修】		C0210210010122d4
教養(実践)	言語教育科目	英語Ⅳ	2	G2S70024_G6									演習		R7年度開講しない。	
教養(実践)	言語教育科目	英語Ⅳ	2	G2S70024_G7	梅田礼子		システム工学部	2	E1-201	後期	木	2	演習	【必修】		C0210210010122d4
教養(実践)	言語教育科目	英語Ⅳ	2	G2S70024_G8	(鳥野ラナ)		システム工学部	2	E1-306	後期	木	2	演習	【必修】		C0210210010122d4
教養(実践)	言語教育科目	英語Ⅳ	2	G2S70024_G9	(江利川春雄)		システム工学部	2	E1-208	後期	木	2	演習	【必修】		C0210210010122d4
教養(実践)	言語教育科目	英語Ⅳ	2	G2S70024_Ga	(松田佳奈)		システム工学部	2	E1-209	後期	木	2	演習	【必修】		C0210210010122d4
教養(実践)	言語教育科目	英語Ⅳ	2	G1000767_G1	(Adrian Smith)		観光学部	1	E1-304	前期	月	1	演習	【必修】		C0200210010121d1
教養(実践)	言語教育科目	英語Ⅳ	2	G1000767_G2	(Adrian Smith)		観光学部	1	E1-304	前期	月	2	演習	【必修】		C0200210010121d1
教養(実践)	言語教育科目	英語Ⅳ	2	G1000767_G3	(Adrian Smith)		観光学部	1	E1-304	前期	月	3	演習	【必修】		C0200210010121d1
教養(実践)	言語教育科目	英語Ⅳ	2	G1000767_G4	(Adrian Smith)		観光学部	1	E1-304	前期	月	4	演習	【必修】		C0200210010121d1
教養(実践)	言語教育科目	英語Ⅳ	2	G1000768_G1	(Adrian Smith)		観光学部	1	E1-304	前期	金	1	演習	【必修】		C0200210010121d1
教養(実践)	言語教育科目	英語Ⅳ	2	G1000768_G2	(Adrian Smith)		観光学部	1	E1-304	前期	金	2	演習	【必修】		C0200210010121d1
教養(実践)	言語教育科目	英語Ⅳ	2	G1000768_G3	(松田ディビッド)		観光学部	1	E1-305	前期	金	2	演習	【必修】		C0200210010121d1
教養(実践)	言語教育科目	英語Ⅳ	2	G1000769_G1	(Adrian Smith)		観光学部	1	E1-304	後期	月	1	演習	【必修】		C0200210010121d2
教養(実践)	言語教育科目	英語Ⅳ	2	G1000769_G2	(Adrian Smith)		観光学部	1	E1-304	後期	月	2	演習	【必修】		C0200210010121d2
教養(実践)	言語教育科目	英語Ⅳ	2	G1000769_G3	(Adrian Smith)		観光学部	1	E1-304	後期	月	3	演習	【必修】		C0200210010121d2
教養(実践)	言語教育科目	英語Ⅳ	2	G1000769_G4	(Adrian Smith)		観光学部	1	E1-304	後期	月	4	演習	【必修】		C0200210010121d2
教養(実践)	言語教育科目	英語Ⅳ	2	G1000770_G1	(Adrian Smith)		観光学部	1	E1-304	後期	金	1	演習	【必修】		C0200210010121d2
教養(実践)	言語教育科目	英語Ⅳ	2	G1000770_G2	(Adrian Smith)		観光学部	1	E1-304	後期	金	2	演習	【必修】		C0200210010121d2
教養(実践)	言語教育科目	英語Ⅳ	2	G1000770_G3	(松田ディビッド)		観光学部	1	E1-305	後期	金	1	演習	【必修】		C0200210010121d2
教養(実践)	言語教育科目	英語Ⅳ	2	G1000770_G4	(松田ディビッド)		観光学部	1	E1-305	後期	金	2	演習	【必修】		C0200210010121d2
教養(実践)	言語教育科目	英語Ⅳ	2	G1000771_G1	(松山雅宏)		観光学部	2	E1-201	前期	月	3	演習	【必修】		C0200210010122d3
教養(実践)	言語教育科目	英語Ⅳ	2	G1000771_G2	(松山雅宏)		観光学部	2	E1-201	前期	月	4	演習	【必修】		C0200210010122d3
教養(実践)	言語教育科目	英語Ⅳ	2	G1000771_G3	(松山雅宏)		観光学部	2	E1-201	前期	火	1	演習	【必修】		C0200210010122d3
教養(実践)	言語教育科目	英語Ⅳ	2	G1000771_G4	(松山雅宏)		観光学部	2	E1-201	前期	火	2	演習	【必修】		C0200210010122d3
教養(実践)	言語教育科目	英語Ⅳ	2	G1000773_G1	(Nicholas Bradford)		観光学部	2	E1-301	後期	火	1	演習	【必修】		C0200210010122d3
教養(実践)	言語教育科目	英語Ⅳ	2	G1000773_G2	(Nicholas Bradford)		観光学部	2	E1-301	後期	火	2	演習	【必修】		C0200210010122d3
教養(実践)	言語教育科目	英語Ⅳ	2	G1000773_G3	(Nicholas Bradford)		観光学部	2	E1-301	後期	木	1	演習	【必修】		C0200210010122d3
教養(実践)	言語教育科目	英語Ⅳ	2	G1000773_G4	(Nicholas Bradford)		観光学部	2	E1-301	後期	木	2	演習	【必修】		C0200210010122d3
教養(実践)	言語教育科目	英語Ⅳ	2	G20011019_G1	(遠藤史)		社会インフォマティクス学環	1	E1-210	前期	火	1	演習	【必修】		C0200210010121d1
教養(実践)	言語教育科目	英語Ⅳ	2	G20011020_G1	梅田礼子		社会インフォマティクス学環	1	E1-201	後期	木	3	演習	【必修】		C0200210010121d2
教養(実践)	言語教育科目	英語Ⅳ	2	G20011021_G1	梅田礼子		社会インフォマティクス学環	2	E1-201	前期	金	3	演習	【必修】		C0200210010122d1
教養(実践)	言語教育科目	英語Ⅳ	2	G20011022_G1	(遠藤史)		社会インフォマティクス学環	2	E1-210	後期	火	1	演習	【必修】		C0200210010122d2

科目区分	科目群	科目名	単位数	時間割コード	担当教員	複数担当教員	対象学部	配当年次	教室	開講学期	曜日	時限	授業形態	人数制限	備考	科目ナンバリング
教養（実践）	言語教育科目	ドイツ語入門	2	G2002001_G3	千田まや		教育・シスエ・観光・社会インフォマティクス	1/2/3/4	E1-208	前期	火	4	講義・演習	-	「ドイツ語〇Ⅰ」「ドイツ語初級Ⅰ〇」修得者は履修不可	C02101J0000121d1
教養（実践）	言語教育科目	ドイツ語入門	2	G2002001_G2	千田まや		経済学部	1/2/3/4	E1-206	前期	木	3	講義・演習	50	「ドイツ語〇Ⅰ」「ドイツ語初級Ⅰ〇」修得者は履修不可	C02101J0000121d1
新 教養（実践）	言語教育科目	ドイツ語入門	2	G2002001_G1	千田まや		教育・シスエ・観光・社会インフォマティクス	1/2/3/4	E1-205	後期	火	4	講義・演習	-	「ドイツ語〇Ⅰ」「ドイツ語初級Ⅰ〇」修得者は履修不可	C02101J0000121d1
教養（実践）	言語教育科目	ドイツ語初級	2				全学部生（経済学部優先）	1/2/3/4	E1-206	後期	木	3	講義・演習	50	R7年度開講しない。 「ドイツ語〇Ⅰ」「ドイツ語初級Ⅰ〇」修得者は履修不可	C02101J0000121d2
教養（実践）	言語教育科目	ドイツ語中級A	2	G1000728_G1	千田まや		全学部生	2/3/4	E1-208	前期	火	3	講義・演習	-		C02101J0000122d3
教養（実践）	言語教育科目	ドイツ語中級B	2	G1000729_G1	千田まや		全学部生	2/3/4	E1-210	後期	木	2	講義・演習	-		C02101J0000122d3
教養（実践）	言語教育科目	フランス語入門	2	G2003001_G1	小林裕史		経済学部	1/2/3/4	E1-304	前期	木	2	講義・演習	50	「フランス語〇Ⅰ」「フランス語初級Ⅰ〇」修得者は履修不可	C02101J0000121d1
教養（実践）	言語教育科目	フランス語入門	2	G2003001_G2	（藤本智成）		教育・シスエ・観光・社会インフォマティクス	1/2/3/4	E1-201	前期	火	4	講義・演習	50	「フランス語〇Ⅰ」「フランス語初級Ⅰ〇」修得者は履修不可	C02101J0000121d1
新 教養（実践）	言語教育科目	フランス語入門	2	G2003001_G3	（藤本智成）		教育・シスエ・観光・社会インフォマティクス	1/2/3/4	E1-201	後期	火	4	講義・演習	50	「フランス語〇Ⅰ」「フランス語初級Ⅰ〇」修得者は履修不可	C02101J0000121d2
教養（実践）	言語教育科目	フランス語初級	2				全学部生（経済学部優先）	1/2/3/4	E1-304	後期	木	2	講義・演習	50	R7年度開講しない。 「フランス語〇Ⅰ」「フランス語初級Ⅰ〇」修得者は履修不可	C02101J0000121d2
教養（実践）	言語教育科目	中国語入門	2	G2004001_G1	（瀧野邦雄）		経済学部	1/2/3/4	E1-303	前期	木	2	講義・演習	50	「中国語〇Ⅰ」「中国語初級Ⅰ」修得者は履修不可	C02101J0000121d1
教養（実践）	言語教育科目	中国語入門	2	G2004001_G2	（瀧野邦雄）		経済学部	1/2/3/4	E1-303	前期	木	3	講義・演習	50	「中国語〇Ⅰ」「中国語初級Ⅰ」修得者は履修不可	C02101J0000121d1
新 教養（実践）	言語教育科目	中国語入門	2	G2004001_G3	（鳥羽加寿也）		教育・シスエ・観光・社会インフォマティクス	1/2/3/4	E1-205	後期	木	2	講義・演習	有	「中国語〇Ⅰ」「中国語初級Ⅰ」修得者は履修不可	C02101J0000121d1
教養（実践）	言語教育科目	中国語入門	2	G2004001_G4	（鳥羽加寿也）		教育・シスエ・観光・社会インフォマティクス	1/2/3/4	E1-205	前期	木	3	講義・演習	50	「中国語〇Ⅰ」「中国語初級Ⅰ」修得者は履修不可	C02101J0000121d1
教養（実践）	言語教育科目	中国語入門	2	G2004001_G5	（鳥羽加寿也）		教育・シスエ・観光・社会インフォマティクス	1/2/3/4	E1-205	前期	木	2	講義・演習	50	「中国語〇Ⅰ」「中国語初級Ⅰ」修得者は履修不可	C02101J0000121d1
教養（実践）	言語教育科目	中国語初級	2				経済学部	1/2/3/4	E1-303	後期	木	2	講義・演習	50	R7年度開講しない。 「中国語〇Ⅰ」「中国語初級Ⅰ」修得者は履修不可	C02101J0000121d2
教養（実践）	言語教育科目	中国語初級	2	G2004002_G1	（瀧野邦雄）		経済学部	1/2/3/4	E1-303	後期	木	2	講義・演習	50	「中国語〇Ⅰ」「中国語初級Ⅰ」修得者は履修不可	C02101J0000121d2
教養（実践）	言語教育科目	中国語初級	2	G2004002_G2	（瀧野邦雄）		経済学部	1/2/3/4	E1-303	後期	木	3	講義・演習	50	「中国語〇Ⅰ」「中国語初級Ⅰ」修得者は履修不可	C02101J0000121d2
教養（実践）	言語教育科目	中国語初級	2	G2004002_G3	（鳥羽加寿也）		教育・シスエ・観光・社会インフォマティクス	1/2/3/4	E1-205	後期	木	3	講義・演習	50	「中国語〇Ⅰ」「中国語初級Ⅰ」修得者は履修不可	C02101J0000121d2
教養（実践）	言語教育科目	ハンガール入門	2	G2005001_G1	（高木麻里）		経済学部	1/2/3/4	E1-203	前期	木	2	講義・演習	50	「ハンガール〇Ⅰ」「ハンガール初級Ⅰ」修得者は履修不可	C02101J0000121d1
教養（実践）	言語教育科目	ハンガール入門	2	G2005001_G2	（高木麻里）		教育・シスエ・観光・社会インフォマティクス	1/2/3/4	E1-203	前期	火	4	講義・演習	50	「ハンガール〇Ⅰ」「ハンガール初級Ⅰ」修得者は履修不可	C02101J0000121d1
新 教養（実践）	言語教育科目	ハンガール入門	2	G2005001_G3	（高木麻里）		教育・シスエ・観光・社会インフォマティクス	1/2/3/4	E1-203	後期	火	4	講義・演習	50	「ハンガール〇Ⅰ」「ハンガール初級Ⅰ」修得者は履修不可	C02101J0000121d1
教養（実践）	言語教育科目	ハンガール初級	2				全学部生（経済学部優先）	1/2/3/4	E1-203	後期	木	2	講義・演習	50	R7年度開講しない。 「ハンガール〇Ⅰ」「ハンガール初級Ⅰ」修得者は履修不可	C02101J0000121d2

科目区分	科目群	科目名	単位数	時間コード	担当教員	複数担当教員	対象学部	配当年次	教室	開講学期	曜日	時限	授業形態	人数制限	備考	科目ナンバリング
教養(実践)	言語教育科目	日本語初級A	2	G2006001_G1									演習		R7年度開講しない。	
教養(実践)	言語教育科目	日本語初級B	2	G2006002_G1									演習		R7年度開講しない。	
教養(実践)	言語教育科目	日本語初級C	2	G2006003_G1									演習		R7年度開講しない。	
教養(実践)	言語教育科目	日本語初級D	2	G2006004_G1									演習		R7年度開講しない。	
教養(実践)	言語教育科目	日本語初級K	2	G2006005_G1									演習		R7年度開講しない。	
教養(実践)	言語教育科目	日本語初級L	2	G2006006_G1									演習		R7年度開講しない。	
教養(実践)	言語教育科目	日本語初級M	2	G2006007_G1									演習		R7年度開講しない。	
教養(実践)	言語教育科目	日本語初級N	2	G2006008_G1									演習		R7年度開講しない。	
教養(実践)	言語教育科目	日本語中級A	2	G2006013_G1	嶋本圭子		全学留学生	全学年	E1-210	前期	火	2	演習	20	留学生対象/※履修希望者はプレイスメントテストを必ず受けること。	C0210210011021d1
教養(実践)	言語教育科目	日本語中級B	2	G2006009_G1	安本博司		全学留学生	全学年	E1-209	前期	火	3	演習	20	留学生対象/※履修希望者はプレイスメントテストを必ず受けること。	C0210210011021d1
教養(実践)	言語教育科目	日本語中級C	2	G2006010_G1	(南方里衣子)		全学留学生	全学年	E1-210	前期	水	2	演習	20	留学生対象/※履修希望者はプレイスメントテストを必ず受けること。	C0210210011021d1
教養(実践)	言語教育科目	日本語中級D	2	G2006014_G1	嶋本圭子		全学留学生	全学年	E1-208	前期	水	3	演習	20	留学生対象/※履修希望者はプレイスメントテストを必ず受けること。	C0210210011021d1
教養(実践)	言語教育科目	日本語中級K	2	G2006015_G1	(中野律)		全学留学生	全学年	E1-209	後期	火	2	演習	20	留学生対象/※履修希望者はプレイスメントテストを必ず受けること。	C0210210011021d1
教養(実践)	言語教育科目	日本語中級L	2	G2006011_G1	(長友文子)		全学留学生	全学年	E1-209	後期	火	3	演習	20	留学生対象/※履修希望者はプレイスメントテストを必ず受けること。	C0210210011021d1
教養(実践)	言語教育科目	日本語中級M	2	G2006012_G1	嶋本圭子		全学留学生	全学年	E1-210	後期	水	2	演習	20	留学生対象/※履修希望者はプレイスメントテストを必ず受けること。	C0210210011021d1
教養(実践)	言語教育科目	日本語中級N	2	G2006016_G1	安本博司		全学留学生	全学年	E1-208	後期	水	3	演習	20	留学生対象/※履修希望者はプレイスメントテストを必ず受けること。	C0210210011021d1
新	教養(実践)	日本語中級上級 A	2	G2006028_G1	(中野律)		全学留学生	全学年	E1-209	前期	火	2	演習	20	留学生対象/※履修希望者はプレイスメントテストを必ず受けること。	C0210210011021d1
新	教養(実践)	日本語中級上級 B	2	G2006029_G1	(長友文子)		全学留学生	全学年	E1-301	前期	火	3	演習	20	留学生対象/※履修希望者はプレイスメントテストを必ず受けること。	C0210210011021d1
新	教養(実践)	日本語中級上級 C	2	G2006030_G1	嶋本圭子		全学留学生	全学年	E1-208	前期	水	2	演習	20	留学生対象/※履修希望者はプレイスメントテストを必ず受けること。	C0210210011021d1
新	教養(実践)	日本語中級上級 D	2	G2006031_G1	(南方里衣子)		全学留学生	全学年	E1-210	前期	水	3	演習	20	留学生対象/※履修希望者はプレイスメントテストを必ず受けること。	C0210210011021d1
新	教養(実践)	日本語中級上級 K	2	G2006032_G1	安本博司		全学留学生	全学年	E1-208	後期	火	2	演習	20	留学生対象/※履修希望者はプレイスメントテストを必ず受けること。	C0210210011021d1
新	教養(実践)	日本語中級上級 L	2	G2006033_G1	嶋本圭子		全学留学生	全学年	E1-210	後期	火	3	演習	20	留学生対象/※履修希望者はプレイスメントテストを必ず受けること。	C0210210011021d1
新	教養(実践)	日本語中級上級 M	2	G2006034_G1	(南方里衣子)		全学留学生	全学年	E1-201	後期	水	2	演習	20	留学生対象/※履修希望者はプレイスメントテストを必ず受けること。	C0210210011021d1
新	教養(実践)	日本語中級上級 N	2	G2006035_G1	嶋本圭子		全学留学生	全学年	E1-210	後期	水	3	演習	20	留学生対象/※履修希望者はプレイスメントテストを必ず受けること。	C0210210011021d1
教養(実践)	言語教育科目	日本語上級A	2	G2006021_G1	(長友文子)		全学留学生	全学年	E1-301	前期	火	2	演習	20	留学生対象/※履修希望者はプレイスメントテストを必ず受けること。	C0210210011021d1
教養(実践)	言語教育科目	日本語上級B	2	G2006017_G1	嶋本圭子		全学留学生	全学年	E1-210	前期	火	3	演習	20	留学生対象/※履修希望者はプレイスメントテストを必ず受けること。	C0210210011021d1
教養(実践)	言語教育科目	日本語上級C	2	G2006018_G1	(藤永真理子)		全学留学生	全学年	E1-206	前期	水	2	演習	20	留学生対象/※履修希望者はプレイスメントテストを必ず受けること。	C0210210011021d1
教養(実践)	言語教育科目	日本語上級D	2	G2006022_G1	安本博司		全学留学生	全学年	E1-209	前期	水	3	演習	20	留学生対象/※履修希望者はプレイスメントテストを必ず受けること。	C0210210011021d1
教養(実践)	言語教育科目	日本語上級K	2	G2006023_G1	嶋本圭子		全学留学生	全学年	E1-210	後期	火	2	演習	20	留学生対象/※履修希望者はプレイスメントテストを必ず受けること。	C0210210011021d1
教養(実践)	言語教育科目	日本語上級L	2	G2006019_G1	安本博司		全学留学生	全学年	E1-208	後期	火	3	演習	20	留学生対象/※履修希望者はプレイスメントテストを必ず受けること。	C0210210011021d1
教養(実践)	言語教育科目	日本語上級M	2	G2006020_G1	(藤永真理子)		全学留学生	全学年	E1-206	後期	水	2	演習	20	留学生対象/※履修希望者はプレイスメントテストを必ず受けること。	C0210210011021d1
教養(実践)	言語教育科目	日本語上級N	2	G2006024_G1	(長友文子)		全学留学生	全学年	E1-209	後期	水	3	演習	20	留学生対象/※履修希望者はプレイスメントテストを必ず受けること。	C0210210011021d1

科目区分	科目群	科目名	単位数	時間割コード	担当教員	複数担当教員	対象学部	配当年次	教室	開講学期	曜日	時間	授業形態	人数制限	備考	科目ナンバリング
教養(実践)	海外留学科目	海外短期留学 (オーストラリア)	2	G1001065_G1									講義・演習		R7年度開講しない。	CQ0001J10001121d1
教養(実践)	海外留学科目	海外短期留学 (ベトナム)	2	G1001056_G1	竹澤大史		全学部生	1/2/3/4		前期	集中		講義・演習	有	R7年3月に実施した海外短期留学に参加した学生を対象とする。留学先 ホーチミン・河内大学等(ベトナム)	CQ0001J10001121d1
新教養(実践)	海外留学科目	海外短期留学 (フランス)	2	G1001057_G1	Gabrakova Dennitza Stefanova		全学部生	1/2/3/4		前期	集中		講義・演習	有	R7年2月に実施した海外短期留学に参加した学生を対象とする。留学先 オーデংশ・ビジネススクール(フランス)	CQ0001E10001121d1
新教養(実践)	海外留学科目	海外短期留学 (グアム)	2	G1001091_G1	Gabrakova Dennitza Stefanova		全学部生	1/2/3/4		前期	集中		講義・演習	有	R7年3月に実施した海外短期留学に参加した学生を対象とする。留学先 グアム大学(アメリカ)	CQ0001E10001121d1
新教養(実践)	海外留学科目	海外短期留学 (オーストラリアA)	2	G1001093_G1	Gabrakova Dennitza Stefanova		全学部生	1/2/3/4		後期	集中		講義・演習	有	R7年9月に実施した海外短期留学に参加した学生を対象とする。留学先 ウーロンゴン大学(オーストラリア)	CQ0001E1011121d1
新教養(実践)	海外留学科目	海外短期留学 (韓国)	2	G1001094_G1	安本博司		全学部生	1/2/3/4		後期	集中		講義・演習	有	R7年9月に実施した海外短期留学に参加した学生を対象とする。留学先 高神大学(韓国)	CQ0001J10001121d1
新教養(実践)	アカデミック・ライティング科目	論理的な文章の書き方	1	G1001064_G1	藤永博		全学部生	1/2/3/4	E1-206	Q1	火	4	講義・演習	80	社会インフォマティクス専攻生は履修不可	C50001J1000021e2
新教養(実践)	アカデミック・ライティング科目	論理的な文章の書き方	1	G1001054_G2	藤永博		全学部生	1/2/3/4	E1-102	Q3	火	4	講義・演習	80	社会インフォマティクス専攻生は履修可	C50001J1000021e2
新教養(実践)	アカデミック・ライティング科目	パラグラフ・ライティング	1	G1001070_G1	藤永博		全学部生	1/2/3/4	E1-206	Q2	火	4	講義・演習	80	社会インフォマティクス専攻生は履修不可	C50001J1000021e3
新教養(実践)	アカデミック・ライティング科目	パラグラフ・ライティング	1	G1001070_G2	藤永博		全学部生	1/2/3/4	E1-102	Q4	火	4	講義・演習	80	社会インフォマティクス専攻生は履修可	C50001J1000021e3
教養(実践)	日本事情・日本文化科目	日本語日本文化研究A	2	G1001063_G1	(長友文子)		日研究生・交換留学生	全学年	E1-208	前期	木	4	講義・演習	10	日研究生のみ履修可	C02093J0000121g1
教養(実践)	日本事情・日本文化科目	日本語日本文化研究K	2	G1001064_G1	安本博司		日研究生	全学年	E1-208	後期	火	4	講義・演習	10	日研究生のみ履修可	C02093J0000121g1
教養(実践)	日本事情・日本文化科目	日本事情(日本の社会と文化)	2	G1001087_G1	安本博司		全学部生	1/2/3/4	E1-205	前期	火	4	講義・演習	有	【わかやま日本学副専攻】	C02093J00011121g1
教養(実践)	日本事情・日本文化科目	日本事情(日本の社会と文化)	2	G1001088_G1	安本博司		全学部生	3/4	E1-205	前期	月	3	講義・演習	有	【わかやま日本学副専攻】	C02093J00011121g1
教養(実践)	日本事情・日本文化科目	日本事情(日本の社会と文化)	2	G1001087_G2	嶋本圭子		全学部生	1/2/3/4	E1-205	後期	金	3	講義・演習	有	【わかやま日本学副専攻】	C0209J00011121g1
教養(実践)	日本事情・日本文化科目	現代健康・スポーツ論	2	G1001088_G2	安本博司		全学部生	3/4	E1-205	後期	金	2	講義・演習	有	【わかやま日本学副専攻】	C0209J00011121g1
教養(実践)	健康・スポーツ教育科目	健康・スポーツ論	2	G3180002_G1	(山口華澄)		教育学部	1	E1-101	前期	金	4	講義	220		C5903J100010221f1
教養(実践)	健康・スポーツ教育科目	スポーツ実習A1	1	G3001001_G1	(中野卓)		教育学部	1	陸上競技場	前期	金	3	実技	有		C5903J100010221f1
教養(実践)	健康・スポーツ教育科目	スポーツ実習B1	1	G3001002_G1	池田拓人		教育学部	1	多目的広場	前期	金	3	実技	有		C5903J100010221f1
教養(実践)	健康・スポーツ教育科目	スポーツ実習C1	1	G3001003_G1	(池谷茂隆)		教育学部	1	テニスコート	前期	金	3	実技	有		C5903J100010221f1
教養(実践)	健康・スポーツ教育科目	スポーツ実習D1	1	G3001004_G1	(中野卓)		教育学部	1	陸上競技場	前期	金	2	実技	有		C5903J100010221f1
教養(実践)	健康・スポーツ教育科目	スポーツ実習E1	1	G3001005_G1	矢野勝		教育学部	1	体育館(武道場)	前期	金	2	実技	有		C5903J100010221f1
教養(実践)	健康・スポーツ教育科目	スポーツ実習F1	1	G3001006_G1	(池谷茂隆)		教育学部	1	テニスコート	前期	金	2	実技	有		C5903J100010221f1
教養(実践)	健康・スポーツ教育科目	スポーツ実習A2	1	G3001007_G1	(藤巻宏一)		教育学部	1	体育館(武道場)	後期	金	3	実技	有		C5903J100010221f2
教養(実践)	健康・スポーツ教育科目	スポーツ実習B2	1	G3001008_G1	村瀬浩二		教育学部	1	陸上競技場	後期	金	2	実技	有		C5903J100010221f2
教養(実践)	健康・スポーツ教育科目	スポーツ実習C2	1	G3001009_G1	(池谷茂隆)		教育学部	1	体育館(卓球場)	後期	金	3	実技	有		C5903J100010221f2
教養(実践)	健康・スポーツ教育科目	スポーツ実習D2	1	G3001010_G1	(中野卓)		教育学部	1	体育館(アリーナ)	後期	金	2	実技	有		C5903J100010221f2
教養(実践)	健康・スポーツ教育科目	スポーツ実習E2	1	G3001011_G1	(中野卓)		教育学部	1	体育館(アリーナ)	後期	金	3	実技	有		C5903J100010221f2
教養(実践)	健康・スポーツ教育科目	スポーツ実習F2	1	G3001012_G1	(池谷茂隆)		教育学部	1	体育館(卓球場)	後期	金	2	実技	有		C5903J100010221f2
教養(実践)	健康・スポーツ教育科目	スポーツ実習Z1	1	G3001013_G1	村瀬浩二		教育学部	1		前期	金	3	実技	有		C5903J100010221f1
教養(実践)	健康・スポーツ教育科目	スポーツ実習Z2	1	G3001014_G1	池田拓人		教育学部	1		後期	金	2	実技	有		C5903J100010221f1
新教養(実践)	健康・スポーツ教育科目	健康とスポーツの生理学的基礎	1	G3001031_G1									講義		R7年度開講しない。	C5902J10100221f1
新教養(実践)	健康・スポーツ教育科目	健康とスポーツの心理学的基礎	1	G3001032_G1									講義		R7年度開講しない。	C5902J10100221f1
教養(実践)	健康・スポーツ教育科目	スポーツ実習A	1	G3001015_G1	藤永博		経済・シスエ・観光・社会インフォマティクス	1/2/3/4	体育館(アリーナ)	前期	月	3	実技	35		C5903J100010221f1
新教養(実践)	健康・スポーツ教育科目	スポーツ実習B	1	G3001016_G1									実技		R7年度開講しない。	

科目区分	科目群	科目名	単位数	時間割コード	担当教員	複数担当教員	対象学部	配当年次	教室	開講学期	曜日	時間	授業形態	人数制限	備考	科目ナンバリング
教養(実践)	健康・スポーツ教育科目	スポーツ実習C	1	G3001017_G1	藤永博		経済・シスエ・観光・社会インフォマティクス	1/2/3/4	体育館(アリーナ)	前期	月	2	実技	35		C5903J0001021f1
教養(実践)	健康・スポーツ教育科目	スポーツ実習D	1	G3001018_G1									実技		R7年度開講しない。	
教養(実践)	健康・スポーツ教育科目	スポーツ実習E	1	G3001019_G1									実技		R7年度開講しない。	
教養(実践)	健康・スポーツ教育科目	スポーツ実習F	1	G3001020_G1									実技		R7年度開講しない。	
教養(実践)	健康・スポーツ教育科目	スポーツ実習G	1	G3001021_G1									実技		R7年度開講しない。	
教養(実践)	健康・スポーツ教育科目	スポーツ実習H	1	G3001022_G1	(飯巻宏一)		経済・シスエ・観光・社会インフォマティクス	1/2/3/4	体育館(武道場)	前期	水	3	実技	35		C5903J0001021f1
教養(実践)	健康・スポーツ教育科目	スポーツ実習I	1	G3001023_G1									実技		R7年度開講しない。	
教養(実践)	健康・スポーツ教育科目	スポーツ実習J	1	G3001024_G1									実技		R7年度開講しない。	
教養(実践)	健康・スポーツ教育科目	スポーツ実習K	1	G3001025_G1	藤永博		経済・シスエ・観光・社会インフォマティクス	1/2/3/4	体育館(車球場)	後期	月	2	実技	35		C5903J0001021f1
教養(実践)	健康・スポーツ教育科目	スポーツ実習L	1	G3001026_G1									実技		R7年度開講しない。	
教養(実践)	健康・スポーツ教育科目	スポーツ実習M	1	G3001027_G1									実技		R7年度開講しない。	
教養(実践)	健康・スポーツ教育科目	スポーツ実習N	1	G3001028_G1	(飯巻宏一)		経済・シスエ・観光・社会インフォマティクス	1/2/3/4	体育館(武道場)	後期	水	2	実技	35		C5903J0001021f1
教養(実践)	健康・スポーツ教育科目	スポーツ実習O	1	G3001029_G1	藤永博		経済・シスエ・観光・社会インフォマティクス	1/2/3/4	体育館(車球場)	後期	月	3	実技	35		C5903J0001021f1
教養(実践)	健康・スポーツ教育科目	スポーツ実習P	1	G3001030_G1									実技		R7年度開講しない。	
連携展開	わかやま未来学園専攻	地域創業論	2	R1001001_G1	(有井安仁)		全学部生	3/4	E1-205	通年	集中		講義	60	わかやま未来学園専攻(R5年度以前入学生対象) 3年次履修推奨	C07082J1011133h1
連携展開	わかやま未来学園専攻	地域協働演習基礎	1	R1001002_G1									演習		R7年度開講しない。わかやま未来学園専攻(R5年度以前入学生対象)	C8001J1011132h1
連携展開	わかやま未来学園専攻	地域協働演習A	1	R1001003_G1									演習		R7年度開講しない。わかやま未来学園専攻(R5年度以前入学生対象)	C8001J1011132h2
連携展開	わかやま未来学園専攻	地域協働演習B	1	R1001004_G1									演習		R7年度開講しない。わかやま未来学園専攻(R5年度以前入学生対象)	C8001J1011132h3
連携展開	わかやま未来学園専攻	地域協働演習C	1	R1001005_G1									演習		R7年度開講しない。わかやま未来学園専攻(R5年度以前入学生対象)	C8001J1011132h4
連携展開	わかやま未来学園専攻	地域協働演習Adv.	2	R1001006_G1	佐藤祐介	西川一弘 大浦由美 永瀬節治 佐久間康富 岸上光克 秋山演亮	全学部生	3/4		通年	集中		演習	60	わかやま未来学園専攻(R5年度以前入学生対象)	C8001J1011133h5
連携展開	サテライト科目	熊野祭礼学	1	R1001109_G1	香村旭輝		全学部生	1/2/3/4		前期	集中		講義・実習	-	南紀熊野サテライト(一部田辺市内、田辺観察加のため夜遅い時間に開講します。)	C8001J1010111a1
新連携展開	サテライト科目	南紀熊野の先人たち	1	R1001120_G1	橋本唯子		全学部生	1/2/3/4		前期	集中		講義	30	南紀熊野サテライト(一部田辺市内)	C0302J1010012b1
新連携展開	サテライト科目	統計による社会の分析	2	R1001121_G1	松田慶幸		全学部生	1/2/3/4		前期	集中		講義・演習	20	南紀熊野サテライト・ノートパソコン(Windows)を待参すること	C6003J1531031h1
新連携展開	サテライト科目	南紀熊野の防災実証論	1	R1001122_G1	此松昌彦	田内裕人	全学部生	1/2/3/4		後期	集中		講義・演習	15	南紀熊野サテライト	C25032J1011131h2
新連携展開	サテライト科目	ICTリテラシーとデジタルライフ	2	R1001123_G1	豊田充崇		全学部生	1/2/3/4		後期	集中		講義・演習	-	南紀熊野サテライト・ノートパソコン(Windows)を待参すること	C0907J1531031h1
新連携展開	サテライト科目	中山間地域づくり論	1	R1001124_G1	岸上光克	飯井加寿子	全学部生	1/2/3/4		後期	集中		講義・演習	-	南紀熊野サテライト	C4101J0010131h1
新連携展開	サテライト科目	不登校・ひきこもりへの理解と支援―当事者に寄り添って	2	R1001125_G1	山崎由可里	松越勝 則定百合子 竹澤大史 森麻友子	全学部生	1/2/3/4		前期	集中		講義・演習	25	岸和田サテライト	C0902J1011131h1

科目区分	科目群	科目名	単位数	時間割コード	担当教員	複数担当教員	対象学部	配当年次	教室	開講学期	曜日	時限	授業形態	人数制限	備考	科目ナンバリング
新選読展開	サテライト科目	AIで変わる世界 入門編	2	R1001126_G1	伊原彰紀	風間一洋 八木大岳 藤金剛 西村竜一	全学部生	1/2/3/4		前期	集中		講義・演習	20	岸和田サテライト（一部岸和田高校）	C6103J1J011031h1
	サテライト科目	地域防災入門	2	R1001127_G1	北松昌彦	田内裕人、(室定章)	全学部生	1/2/3/4		後期	集中		講義・演習	25	岸和田サテライト	C2503J1J011131h2
	サテライト科目	SDGs・豊かさ	1	R1001128_G1	岡崎裕	伊藤政也、上野美咲	全学部生	1/2/3/4		後期	集中		講義・演習	25	岸和田サテライト	C0801J1J011131h1
新選読展開	サテライト科目	まち育てを楽しむ	2	R1001129_G1	和田真治	足立基浩 岸上光克 佐久間康富	全学部生	1/2/3/4		後期	集中		講義・演習	20	岸和田サテライト（一部岸和田高校）	C8001J1J011131h1
	地域連携科目	南紀熊野の地域資源研究	2	R1001084_G1	西川一弘	岸上光克 松田敏幸	全学部生	1/2/3/4	E1-101	後期	火	3	講義	有		C8001J0000131h1
	地域連携科目	食と農のこれからを考える	2	R1001018_G1	岸上光克	大浦由美、阪井加寿子	全学部生	1/2/3/4	E1-101	後期	火	5	講義	有		C4101J00010131h1
新選読展開	地域連携科目	消費都市民と社会	2	R1001019_G1	岡崎裕		全学部生	1/2/3/4		後期	集中		講義・演習	有		C08032J011131h1
	地域連携科目	まちづくりと不動産	1	R1001116_G1	西川一弘	足立基浩 平田隆行	全学部生	1/2/3/4	E1-101	Q3	水	5	講義・演習	有		C0700J1J110131h1
	地域連携科目	熊野参詣道の現在と観光	1	R1001117_G1	吉村旭輝	加藤久美	全学部生	1/2/3/4	E1-206	Q4	金	4	講義・演習	有		C8001J1J010131h1
新選読展開	地域連携科目	アントレプレナーシップ発展	1	R1001097_G1	和田真治	平井千津子	全学部生	1/2/3/4	E1-102	Q3	木	1	講義	有	「アントレプレナーシップ実践」（4Q）の履修には本講義を履修し受講していることを求めます。 アントレプレナーシップの学びを深めるには「キャリア」をともに考える（2Q）の受講を推奨。	C07082J011031h1
	地域連携科目	アントレプレナーシップ実践	1	R1001085_G1	和田真治	田代優秋、平井千津子	全学部生	1/2/3/4	E1-102	Q4	木	1	講義・演習	20	「アントレプレナーシップ発展」を履修済みの学生のみ履修可	C07083J011131h2
	地域連携科目	アントレプレナーシップ教育実践演習	2	R1001131_G1	和田真治		全学部生	3/4		通年	集中		講義・演習	有	「アントレプレナーシップ発展」を履修済みの学生のみ履修可	CQ0003J011133h2
新選読展開	数理・データサイエンス科目	データサイエンス基礎	2	R1001086_G1	三浦浩一	西村竜一	全学部生	2/3/4	E1-208	前期	月	6	講義・演習	-	◆遠隔授業	C60032J111003213
	数理・データサイエンス科目	データサイエンス応用	2	R1001087_G1	西村竜一	三浦浩一	全学部生	2/3/4	E1-208	後期	金	6	講義・演習	-	◆遠隔授業 修不可	C60032J111103214
	数理・データサイエンス科目	データサイエンス実践	2	R1001061_G1	吉野孝	西村竜一、三浦浩一	全学部生	3/4	学術情報センター 第2演習室	Q1	火	1、2	講義・演習	30	履修不可	C60033J111113316
新選読展開	数理・データサイエンス科目	人工知能の初歩	1	R1001032_G1	松田憲幸		全学部生	2/3/4	E1-301	Q1	火	4	講義・演習	-	◆遠隔授業	C6103J1J111103212
	数理・データサイエンス科目	人工知能総論	1	R1001033_G1	松田憲幸	西村竜一	全学部生	2/3/4	E1-301	Q2	火	4	講義・演習	-	◆遠隔授業	C6103J1J111103212
	数理・データサイエンス科目	数理・データサイエンス・AI活用PBL	2	R1001062_G1	吉野孝	三浦浩一、西村竜一	全学部生	シス工2年 それ以外3年	学術情報センター 第2演習室	通年	集中		講義・演習	30		C60033J111113215
新選読展開	ASEANプログラム科目	海外体験演習（インドネシア）	2	R1001020_G1									演習		R7年度開講しない。 R7年2月に実施した海外体験演習を対象とす	CQ0002J001131h2
	ASEANプログラム科目	海外体験演習（タイ）	2	R1001021_G1	藤山一郎		全学部生	2		前期	集中		演習	20	「海外体験演習（インドネシア）」（R8年3月）に行く事前学習。 原則として、R8年度「海外体験演習（インドネシア）」（開講予定）の履修を希望する者に限る。	CQ0001J001131h2
	ASEANプログラム科目	国際協力実践演習Ⅰ	2	R1001022_G1	藤山一郎		全学部生	1/2/3/4	E1-208	後期	金	5	演習	20		CQ0002J000113111
新選読展開	ASEANプログラム科目	国際協力実践演習Ⅱ	1	R1001023_G1									演習		R7年度開講しない。 R7年2月に実施した海外体験演習を対象とす	CQ0002J000113213
	ASEANプログラム科目	国際理解とフィールドスタディⅠ	2	R1001024_G1	藤山一郎		全学部生	1	E1-208	後期	月	5	演習	20	「海外体験演習（タイ）」（R8年2月）に行く事前学習。 原則として、R8年度「海外体験演習（タイ）」（開講予定）の履修を希望する者に限る。	CQ0001J000113111
	ASEANプログラム科目	国際理解とフィールドスタディⅡ	2	R1001025_G1	藤山一郎		全学部生	2	E1-208	前期	月	5	演習	20	原則として、R7年2月のタイ・プログラム（海外体験演習（タイ））に参加した学生を対象とする。	CQ0001J000113213

科目区分	科目群	科目名	単位数	時間割コード	担当教員	複数担当教員	対象学部	配当年次	教室	開講学期	曜日	時限	授業形態	人数制限	備考	科目ナンバリング
連携展開	ASEANプログラム科目	異文化コミュニケーション共同演習A	2	R1001063_G1	藤山一郎		全学部生	1/2/3/4	E1-208	前期	水	5	演習	10	インドネシア・ビスマス大学とのオンライン型合同演習	CQ0002J10111311
連携展開	ASEANプログラム科目	異文化コミュニケーション共同演習B	2	R1001064_G1	藤山一郎		全学部生	1/2/3/4	E1-208	後期	水	5	演習	20	◆遠隔授業（一部対面授業） 【わかやま日本学副専攻】・インドネシア・ビスマス大学とのオンライン型合同演習	CQ0002J10111311
連携展開	日本学副専攻	世界の中の日本語	2	R1001098_G1	嶋本圭子		全学部生	1/2/3/4	E1-205	前期	金	2	講義・演習	有	◆遠隔授業（一部対面授業） 【わかやま日本学副専攻】	C0209J10111311
連携展開	日本学副専攻	外国語として学ぶ日本語	2	R1001103_G1	嶋本圭子		全学部生	1/2/3/4	E1-205	後期	金	4	講義・演習	有	【わかやま日本学副専攻】	C0209J100111311
連携展開	日本学副専攻	ビジネス日本語	2	R1001099_G1	(南方里衣子)		全学部生	1/2/3/4	E1-201	後期	水	1	講義・演習	有	【わかやま日本学副専攻】	C0209J100111311
連携展開	日本学副専攻	日本語特論	2	R1001100_G1	Gabrakova Dennitza Stefanova		全学部生	3/4	E1-208	後期	水	4	講義・演習	有	【わかやま日本学副専攻】を履修済みの学生のみ履修可	C0209J10111311
連携展開	日本学副専攻	グローバル社会論	2	R1001104_G1	飯田次郎		全学部生	1/2/3/4	E1-103	後期	月	3	講義・演習	有	【日本学副専攻】を履修済みの学生のみ履修可	C0602J10111311
連携展開	日本学副専攻	ビジネス・コミュニケーション	2	R1001102_G1	(南方里衣子)		全学部生	1/2/3/4	E1-210	前期	水	4	講義・演習	有	【わかやま日本学副専攻】	C0209J10111311
連携展開	日本学副専攻	International Comparative Education	2	R1001118_G1									講義・演習		R7年度開講しない。【わかやま日本学副専攻】	
新 連携展開	日本学副専攻	Comparative Food Culture and Environment	2	R1001130_G1	飯田次郎		全学部生	1/2/3/4	E1-209	前期	水	4	講義・演習	有	【わかやま日本学副専攻】履修には英語で議論ができるレベルの英語能力が必要。国際共修型授業として留学生とともに演習を取り入れた授業を実施するため、人数制限を行う。	C4101E10111311
連携展開	資格科目	生涯学習概論	2	R1001034_G1									講義		R7年度開講しない。 【教育学部開講科目「社会教育概説A」および「社会教育概説B」で充当】	C0307J100100311
連携展開	資格科目	博物館概論	2	R1001035_G1	橋本唯子		全学部生	1/2/3/4	E1-206	前期	火	3	講義	100	【21世紀ミュージアム学】修得者は履修不可（H31年度入学者以前）	C0307J100100311
連携展開	資格科目	博物館経営論	2	R1001036_G1	(佐久間大輔)		全学部生	1/2/3/4	E1-205	通年	集中		講義	100	【ミュージアムを創る】修得者は履修不可（H31年度入学者以前）	C0307J100100311
連携展開	資格科目	博物館教育論	2	R1001037_G1	橋本唯子		全学部生	1/2/3/4	E1-201	前期	木	3	講義・演習	40	【ミュージアムを使う】修得者は履修不可（H31年度入学者以前）	C0307J100100311
連携展開	資格科目	博物館情報・メディア論	2	R1001038_G1	(北村美香)		全学部生	1/2/3/4	E1-205	通年	集中		講義	100	【デジタルコミュニケーション】修得者は履修不可（H31年度入学者以前）	C0307J100100311
連携展開	資格科目	博物館資料論	2	R1001039_G1	橋本唯子	吉村旭輝、北松昌彦	全学部生	1/2/3/4	L101（東2号館）	後期	木	1	講義・演習	100		C0307J100100311
連携展開	資格科目	博物館資料保存論	2	R1001040_G1	吉村旭輝	橋本唯子	全学部生	1/2/3/4		後期	集中		講義	50		C0307J100100311
連携展開	資格科目	博物館展示論	2	R1001041_G1	橋本唯子		全学部生	1/2/3/4	図書館マルチ1	通年	集中		講義・演習	50		C0307J100100311
連携展開	資格科目	博物館実習Ⅰ	2	R1001042_G1	橋本唯子		全学部生	3/4	図書館マルチ1	後期	木	3・4	演習	有		C0307J1001003312
連携展開	資格科目	博物館実習Ⅱ	2	R1001042_G2	橋本唯子		全学部生	3/4		後期	集中		演習	有		C0307J1001003312
連携展開	資格科目	博物館実習Ⅲ	1	R1001043_G1	橋本唯子	秋山演亮 井嶋博 中島敦司 西村竜一 和田真治 (新任教員)	全学部生	4		通年	集中		演習	有		C0307J1001003413
新 連携展開	自主演習科目	自主演習入門	1	R1001132_G1	井嶋博		全学部生	1	E1-206	Q2	火	2	講義	有	【R7年度以降入学者対象】連携展開科目「自主演習（B～H）」との運動を決定しています。「自主演習」の履修する前に「自主演習入門」を必ず履修しなければなりません。	CN0001J11111311
連携展開	自主演習科目	自主演習A	1	R1001044_G1									演習		R7年度開講しない。	CN0001J10111311
連携展開	自主演習科目	自主演習B	1	R1001045_G1	各指導教員		全学部生	1		後期			指導教員が指定する日演習	-	「自主演習入門」(2Q)履修済みの学生のみ履修可 履修登録期間が異なります。詳細は、履修手引「自主演習科目について」を確認してください。	CN0001J10111312
連携展開	自主演習科目	自主演習C	1	R1001046_G1	各指導教員		全学部生	2		前期			指導教員が指定する日演習	-	履修登録期間が異なります。詳細は、履修手引「自主演習科目について」を確認してください。	CN0002J101113213
連携展開	自主演習科目	自主演習D	1	R1001047_G1	各指導教員		全学部生	2		後期			指導教員が指定する日演習	-	履修登録期間が異なります。詳細は、履修手引「自主演習科目について」を確認してください。	CN0002J101113214

科目区分	科目群	科目名	単位数	時間割コード	担当教員	複数担当教員	対象学部	配当年次	教室	開講学期	曜日	時間	授業形態	人数制限	備考	科目ナンバリング
連携展開	自主演習科目	自主演習E	1	R1001048_G1	各指導教員		全学部生	3		前期	指導教員が指定する日	演習		-	履修登録期間が異なります。詳細は、履修手引「自主演習科目について」を確認してください。	CN0002J1011133j5
連携展開	自主演習科目	自主演習F	1	R1001049_G1	各指導教員		全学部生	3		後期	指導教員が指定する日	演習		-	履修登録期間が異なります。詳細は、履修手引「自主演習科目について」を確認してください。	CN0002J1011133j6
連携展開	自主演習科目	自主演習G	1	R1001050_G1	各指導教員		全学部生	4		前期	指導教員が指定する日	演習		-	履修登録期間が異なります。詳細は、履修手引「自主演習科目について」を確認してください。	CN0002J1011134j7
連携展開	自主演習科目	自主演習H	1	R1001051_G1	各指導教員		全学部生	4		後期	指導教員が指定する日	演習		-	履修登録期間が異なります。詳細は、履修手引「自主演習科目について」を確認してください。	CN0002J1011134j8

附 録

資格を取りたい

資格科目（ミュージアム科目）で博物館学芸員資格取得を目指せます

4年次には博物館での実習も行います

⇒ p.23 6.2 博物館学芸員について学ぶへ

日本について知りたい
留学生と共に学びたい

日本学を修める教育プログラム「わかやま日本学副専攻」課程を設けています。副専攻課程の所定の単位を修得した学生は「修了認定証書」を受け取ることができます

⇒ p.29 6.5 グローバルに学ぶへ

ビックデータを扱ってみたい

数理・データサイエンス科目を履修することで体系的にデータサイエンスに関する知識を修得することが可能です
単位取得者にはデジタル修了証（オープンバッジ）を発行しています

⇒ p.33 6.6 数理・データサイエンスを学ぶへ

学生が中心となった演習に参加したい

学生が自発的に学んだ活動を「自主演習」科目で単位認定することができます
ソーラーカープロジェクト、ゲーム制作プロジェクトなどの活動実績があります

⇒ p.25 6.3 主体的に深く学ぶへ

災害や防災・減災について学びたい

災害科学・レジリエンス共創センターが提供する科目で災害・防災・減災について、多角的に学びます。一部科目は防災士認定の受験資格カリキュラムになっています

⇒ p.36 6.8 災害と防災・減災を学ぶへ

＜アクティブ・ラーニングについて＞

専門教育科目や教養教育科目・連携展開科目のシラバスには「授業理解を深める方法」という欄があります。その中には個々の授業科目で利用されるアクティブ・ラーニングの手法が番号で記載されています。個々の手法については、以下の「アクティブ・ラーニングの内容」を参考にしてください。

① 自主演習

本学独自の開講科目である「自主演習」科目が本項に該当する。「自主演習」は、学生の自主性や創造性を喚起するために、学生の自発的な活動に対して評価を与える授業科目である。

② PBL学習

学生が課題を解決する過程で、経験や知識を獲得することができる学習の方法である。PBLは、Problem-Based Learning もしくは Project-Based Learning の略であり、日本語では「課題解決型学習」や「プロジェクト型学習」と表される。両者を区別する場合もあるが、その双方又は一方でも含まれる場合、本項に該当する。

- ▶課題解決型：社会に実在する具体的な課題に対し、合理的な解決法を導き出す学習である。
- ▶プロジェクト型：一定のテーマ・目標に対して、その解決や実現に取り組む過程を通じて学びを得る学習である。

③ 発見学習 体験学習 反転授業

▶発見学習

学習すべきことを、担当教員の説明によって教わるのではなく、学生が自らの考察によって見出していく学習である。

▶体験学習

大学内、大学外を問わず、様々な活動を体験することによって学びを深める学習である。

▶反転授業

従来の授業形態を「反転」させたもので、デジタル教材等を用いた事前学習を行い、授業では事前学習に基づいて課題に取り組む過程で学生自身の学習が深まるように設計がなされている授業である。

④ 普遍的な正答や定型的なモデルが存在しない題材に対し、学生自らが合理的な解を導き出す学習

普遍的な答えが存在しないテーマについて、レポートなどによって自らの考えを整理して、述べることを課題としている学習である。他者に対して論理的、客観的に説明することができる解を学生が自ら考察することを必要とする。

⑤ 学生自らが具体的なテーマや対象を設定する学習

授業内で取り上げられている話題の中から、自らの興味を動機として、特定のテーマに関する予習や復習を学生に誘発するような仕掛けを持つ学習である。担当教員が提示したテーマや対象ではなく、学生自らが学びのテーマや対象を見つけ出し、設定することが求められる。

⑥ 学生自らが実施する調査やトレーニングを必要とする学習

講義や演習の授業時間内の学習を進める上で、学生が事前・事後調査や、授業前後のトレーニングに自ら取り組む必要がある学習である。

⑦ 発展的な課題に取り組むことを促す仕掛けをとまなう学習

担当教員が授業の内容を基により高度なテーマ・方向性等を提示し、学生に新たな学習動機を与えることで、講義や演習の授業時間内の課題を超えて、学生が主体的に発展的な学習に取り組む学習である。

⑧ 学生による発表をとまなう学習

学内・学外を問わず、学会や研究発表会などの機会に対し、学生が自ら準備し、第三者に向けて成果等を発表することを求める学習である。

⑨ 複数の領域にまたがる解法を必要とする学習

学生が文系・理系や、学部・学科等の枠組みを超えて、多様な分野の知見や技術等を組み合わせて自ら学習に取り組むことで、複雑で複合的な事象を考察することが出来る学習である。

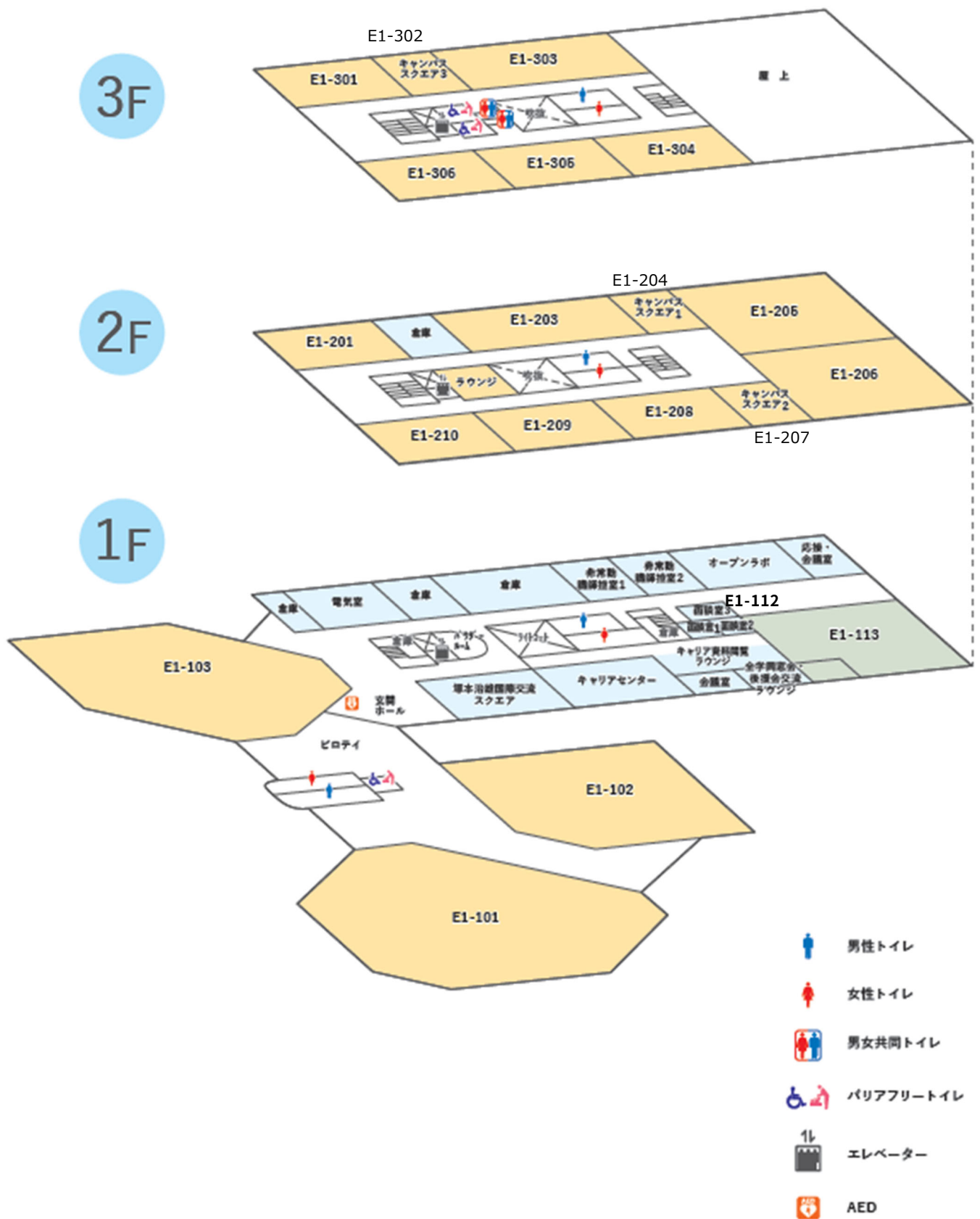
⑩ グループワークをとまなう学習

2人以上で議論をしたり、共同して作業することを通じ、複数の学生がチームで学習しないと到達できない課題を設定している学習である。

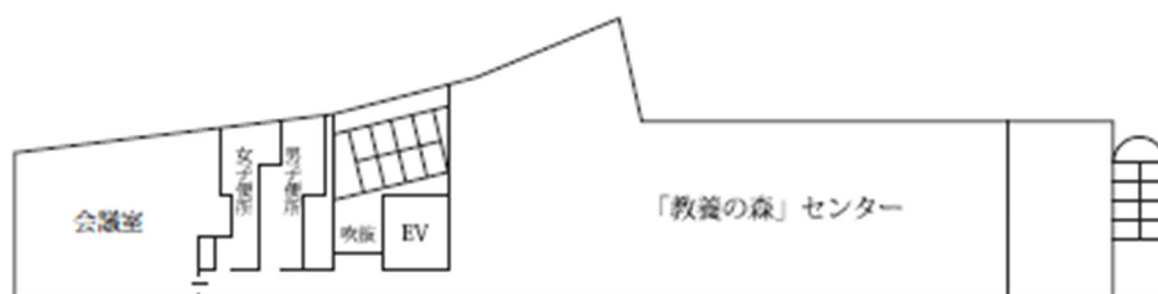
⑪ 学生が自身の学修進展の状況や到達レベルなどを客観的に把握・確認できる仕掛けをとまなう学習

担当教員と学生の間の双方向性が確保されていることを前提にして、学修の過程において学生が自らの理解の度合いを確認し、主体的に学習を改善することができる工夫が導入されている学習である。

東1号館（教養教育）配置図

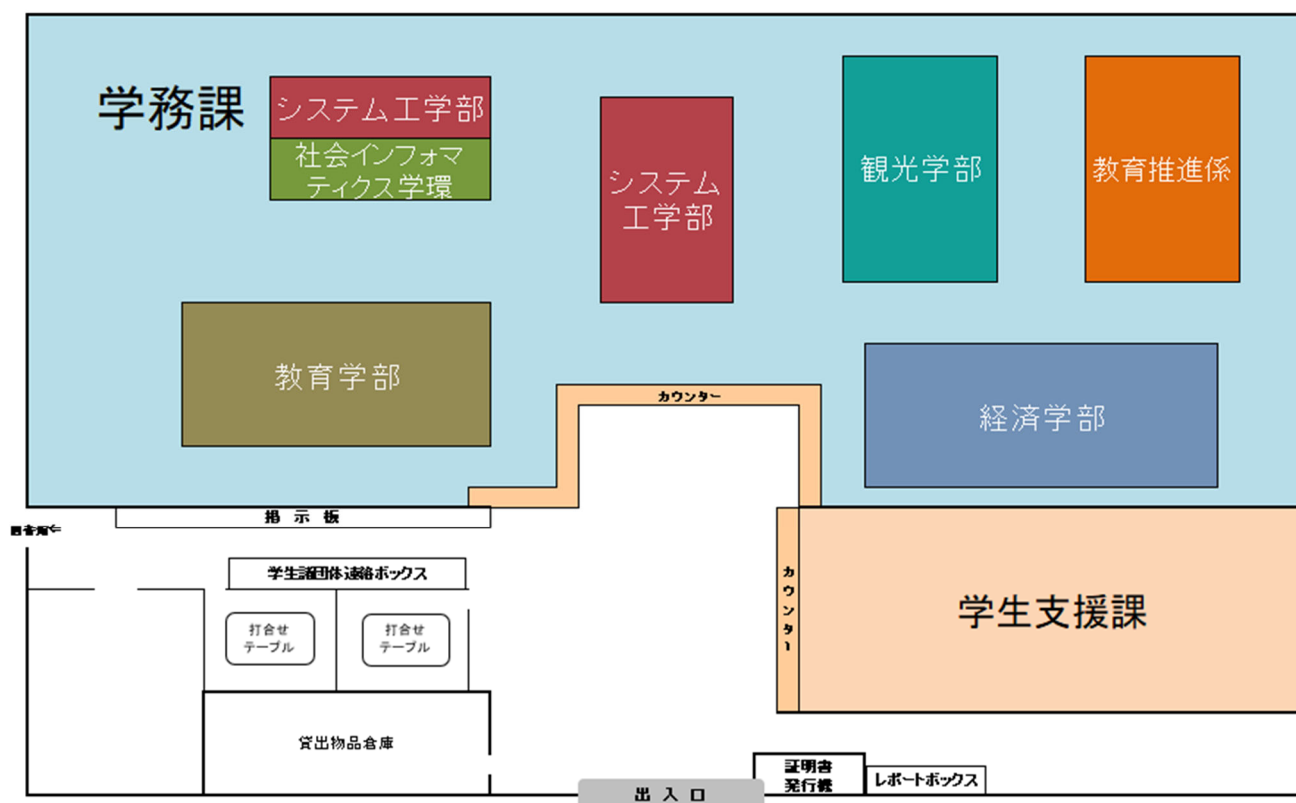


「教養の森」センター配置図



西5号館（図書館）4階

<学 生 セ ン タ ー 配 置 図>



学生センター(西5号館 1階)

【窓口時間】

授業期間中 9:00～17:00

授業期間外 9:00～17:00(12:00～13:00 除く)

※土日祝・年末年始・夏季一斉休業中を除く

※大学入学共通テストおよび本学の前期・後期日程入学試験の前日(前日が土・日・祝日の場合は直前の平日)は試験実施準備のため、窓口時間を 15:00 までに短縮します。また、上記試験実施日は窓口が終日閉まります。